分散型社会実現のためのシナリオ
－自ら決済する地方が日本の未来を創る

2021年10月5日

株式会社 日本総合研究所 主席研究員
株式会社 日本政策投資銀行 地域企画部 特任顧問

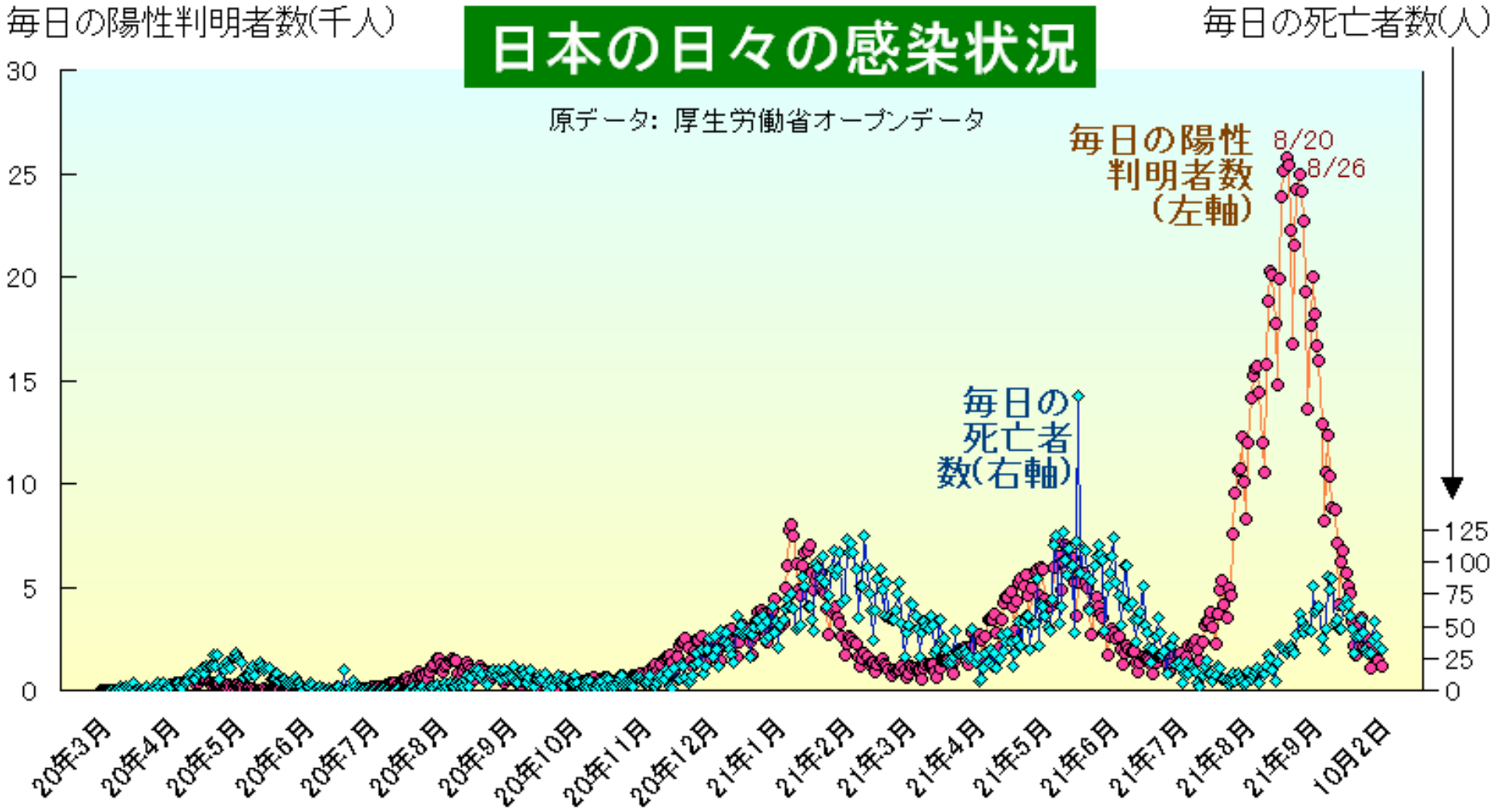
Fact Finder & Structure Perceiver
事実発見＆構造把握業

藻谷浩介（もたに） kosuke@motani.com

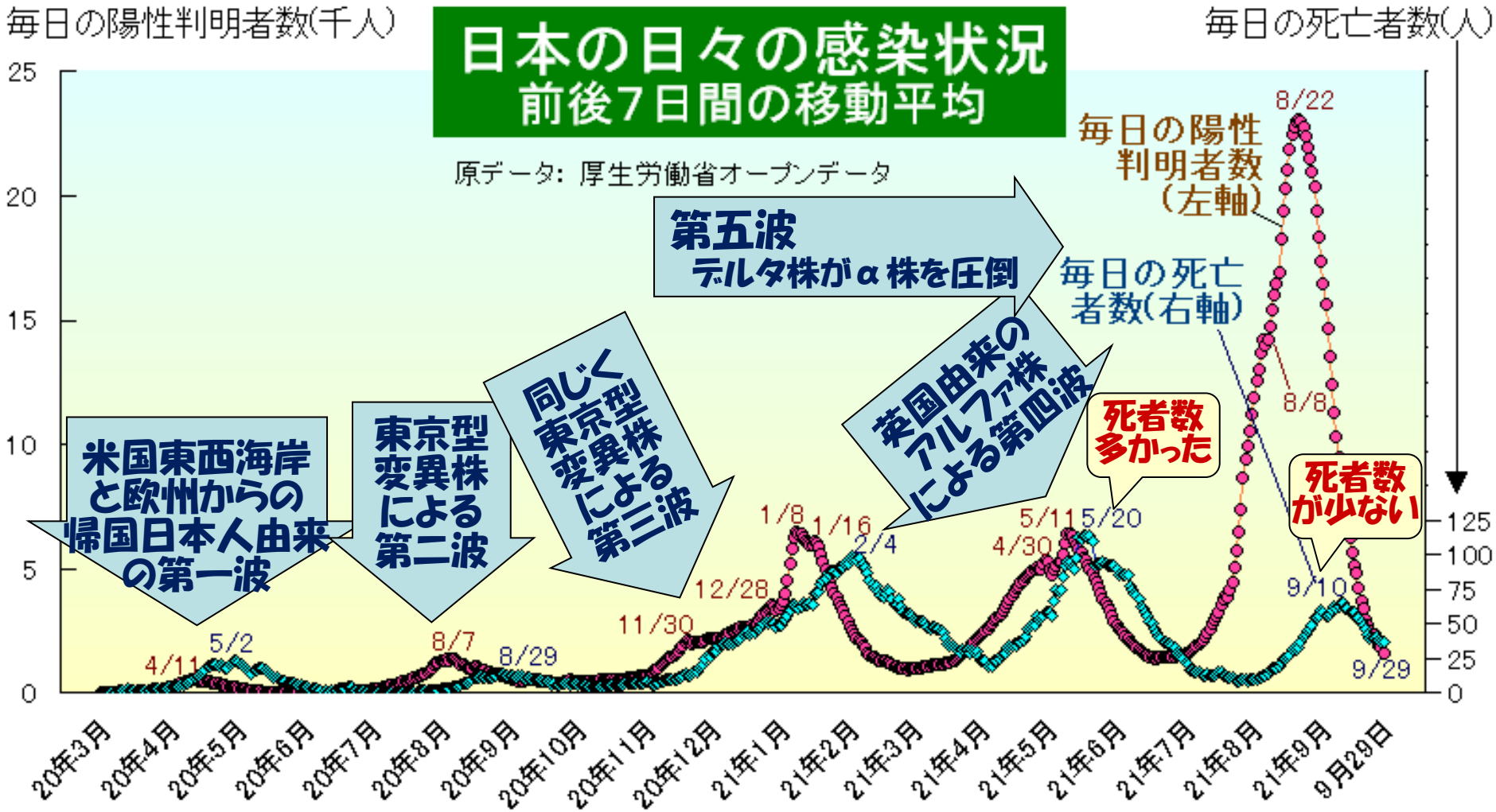
１．事実発見（ファクトファインディング）とは？

文字情報ではなく
全数調査の数字から
複雑な解析ではなく
小学校の算数で
わからないことはパスし
明確な事実を確認

日本での新型コロナの感染拡大
でもこれだとギザギザでよくわからない…



日本での新型コロナの感染拡大
７日間移動平均にしてギザギザを消すと…

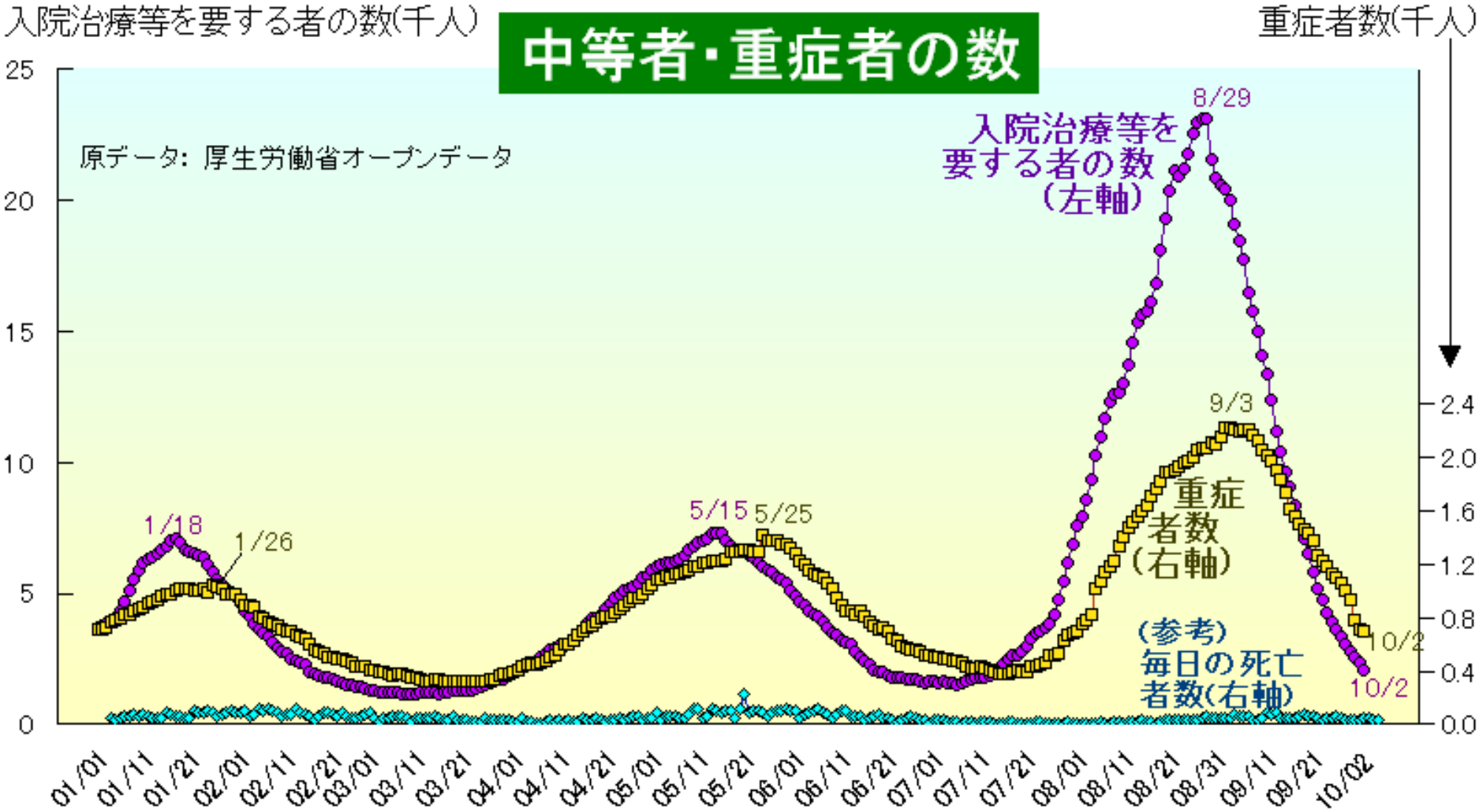


☆ 突然に感染が収まるのは世界共通の現象（このウイルスの性質）

☆ 第五波は、高齢者へのワクチン優先接種で、死亡率が激減した

日本での新型コロナの感染拡大

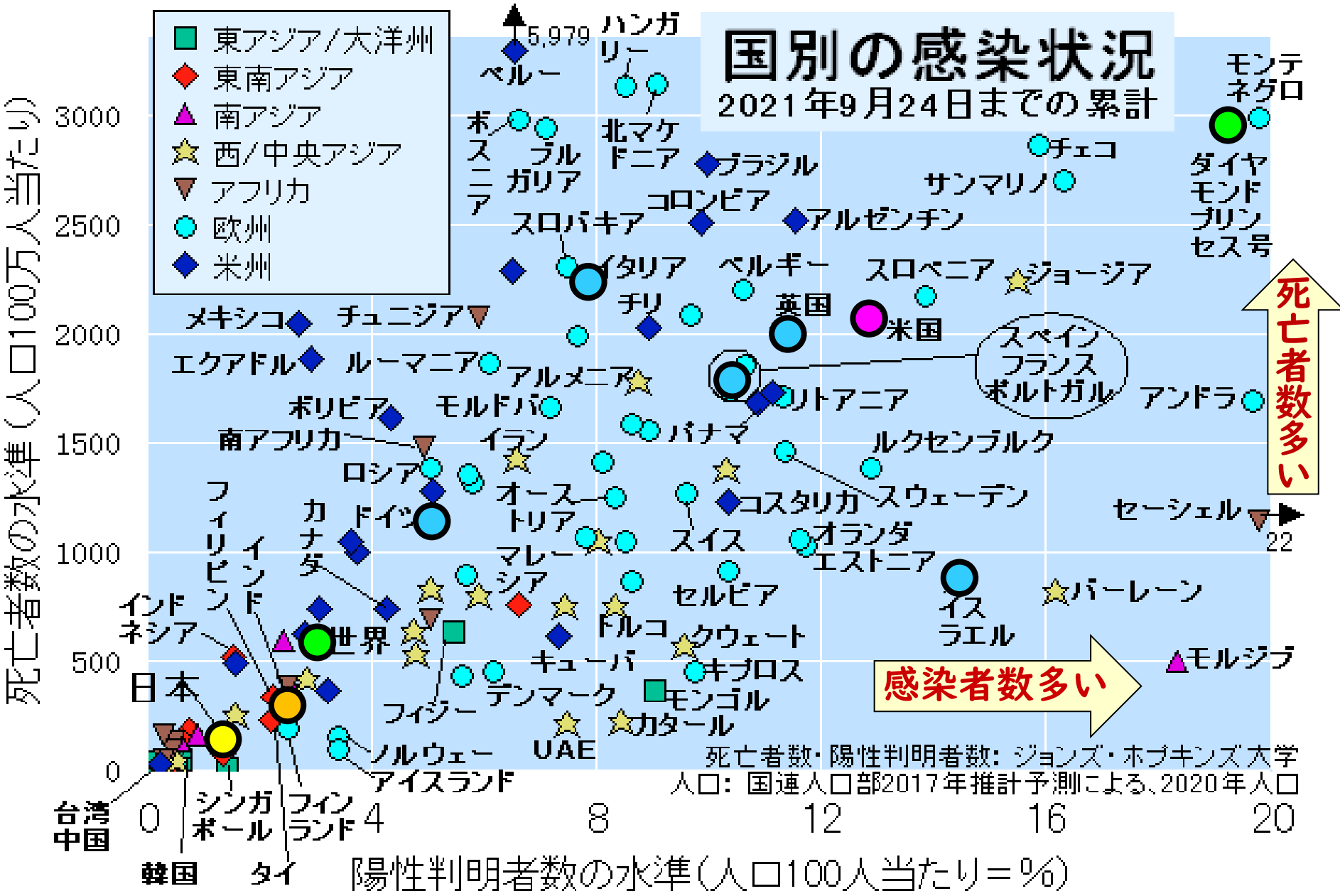
感染者激増・死亡者減の割に、重症者増えず



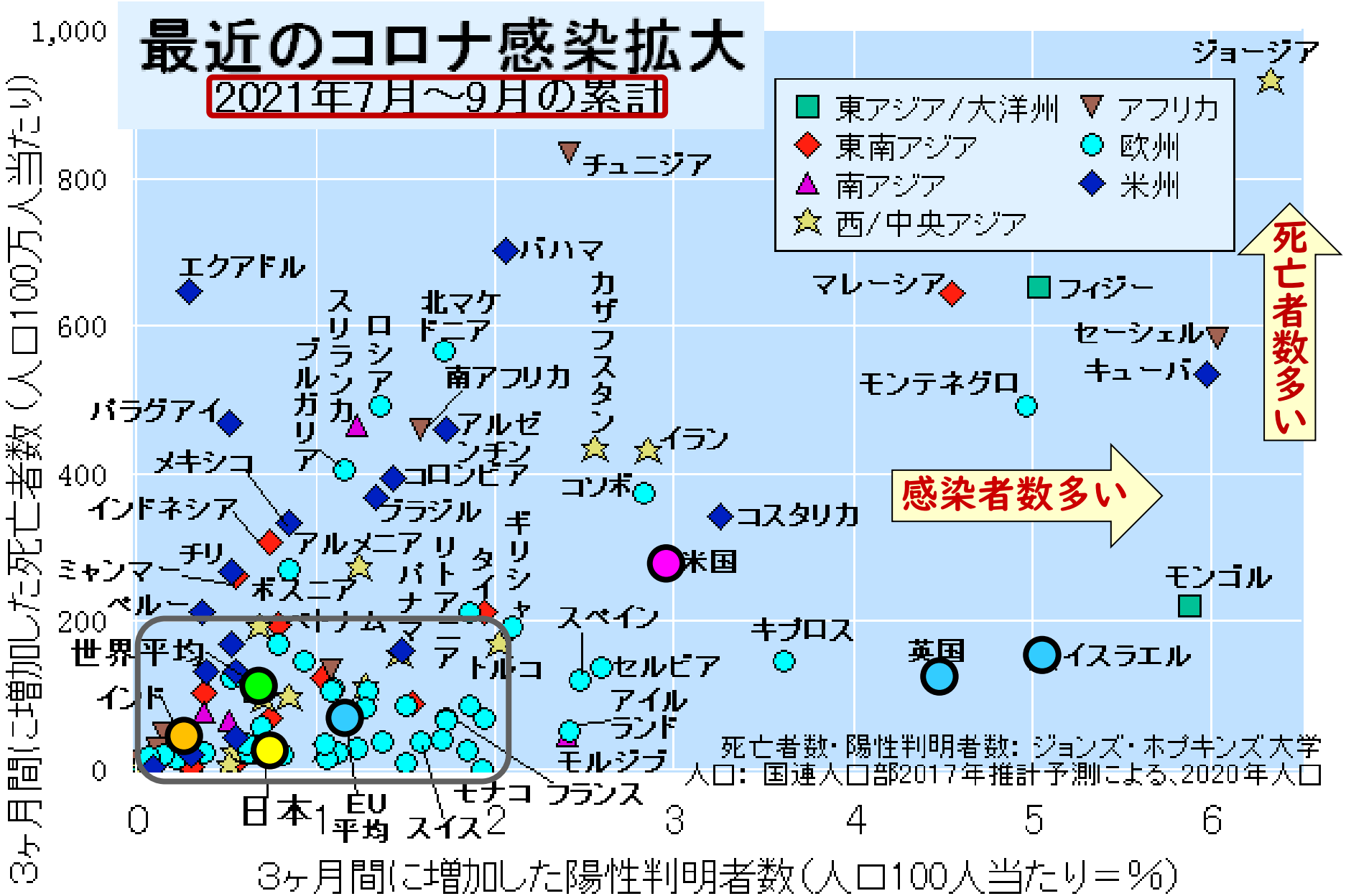
☆ 中等症者の激増＋死者数の減少の割には、重症者は少なかった

☆ 重症者の急増の割には、死者もあまり増えなかった

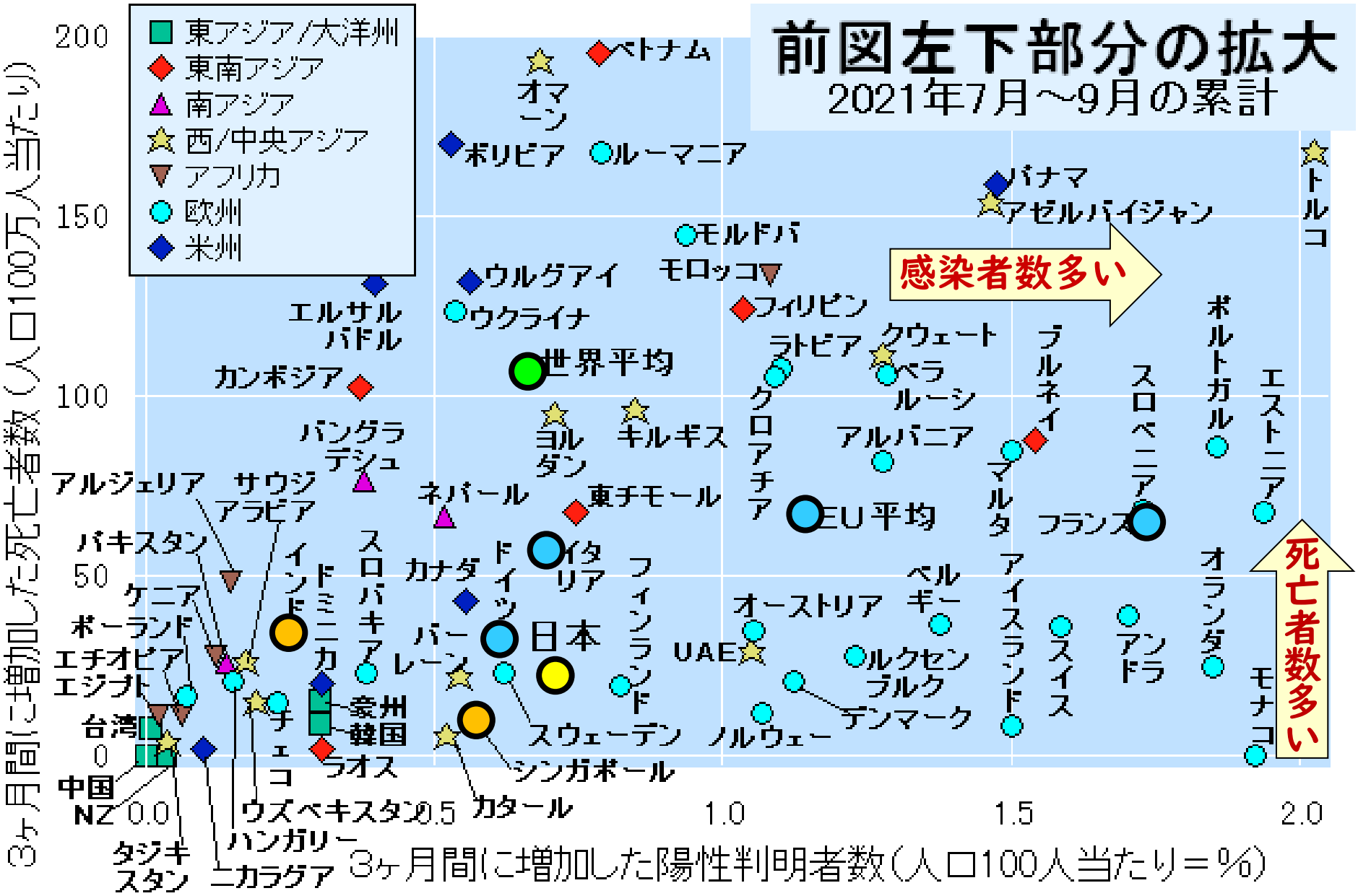
各国の感染状況を累計で総括する



デルタ株の荒れ狂った最近3ヶ月でも



同前（左下の四角の中を拡大）



コロナ禍はこの先どうなるのか？

☆ 死者数を基準にする国々：

欧米：経済活動や交流を再活性化させる
（ただし、ワクチン拒否者の多い米国の死亡率は高め）

シンガポール：感染再拡大だが経済活動再開へ

☆ ゼロコロナを目指し続ける国々：

中国：自国製ワクチン性能への懸念で開国できない

台湾・豪州・NZ（＋韓国）：
ワクチン接種率が上がらず、開国しにくい

☆ 日本：安全なのにゼロコロナ指向抜けず、
世界に取り残されてのそのそ正常化する？

◎ 無知の知

☆ 知らないことは、恥ではなく当たり前
☆ 無知の自覚の先に、知の泉がある

× 誤知の痴

☆ 誤った知識が、「高学歴バカ」を生む
☆ モデルの妄信が、事実認識を歪める

2. 世界は元から分散型社会

ライフステージに応じて、働く場所と働き方を変える ハイブリッド・ワークスタイル

“現代の参勤交代”（養老孟司）

← 年に数ヶ月は、脱都会で自然の中に住む

← “脳化”した生活を脱し、身体性を取り戻す

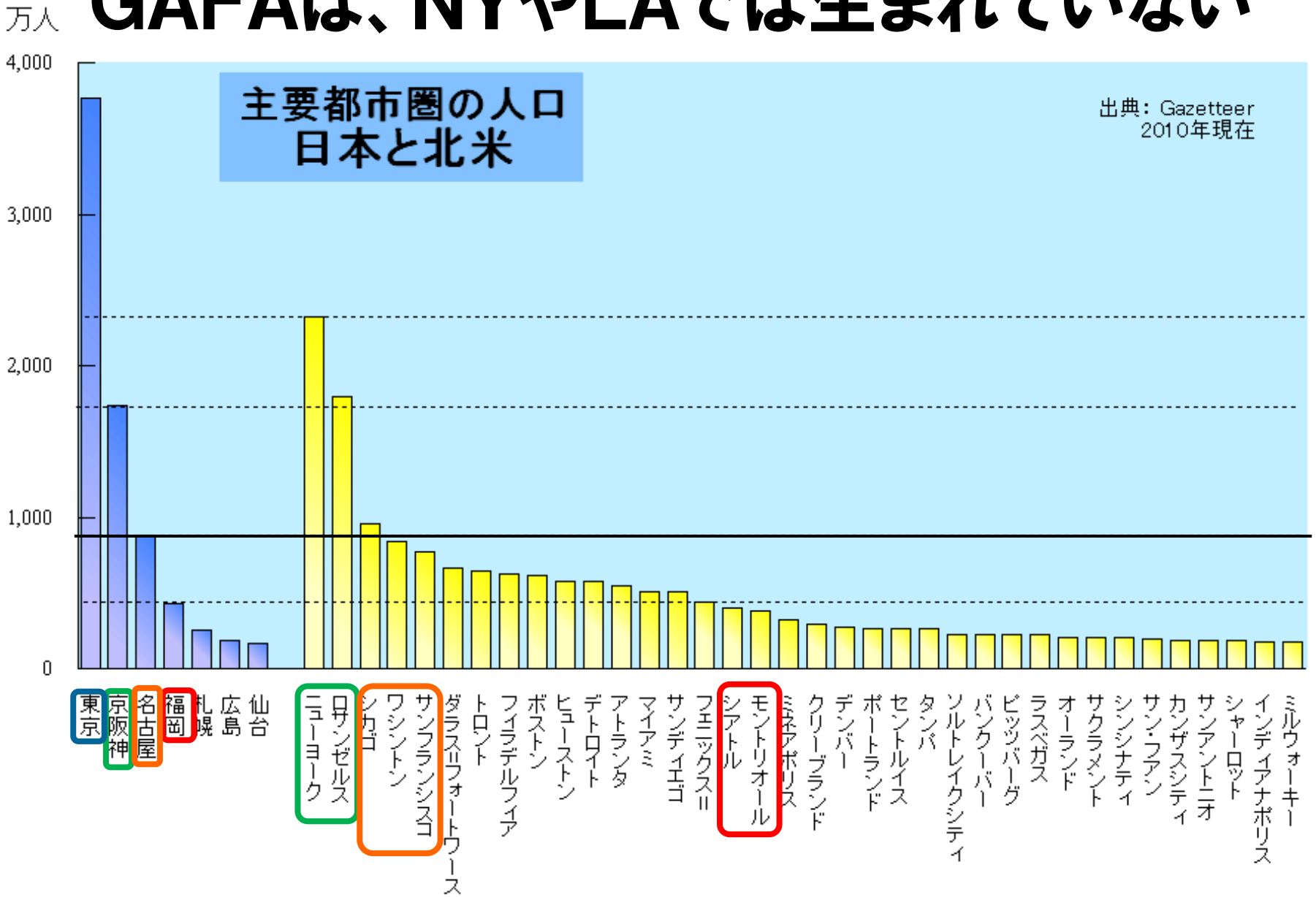
← 視覚・聴覚と並んで大脳皮質に直結した重要な感覚である、“触覚”を取り戻す

自然の中で美意識を鍛えよ（山口周）

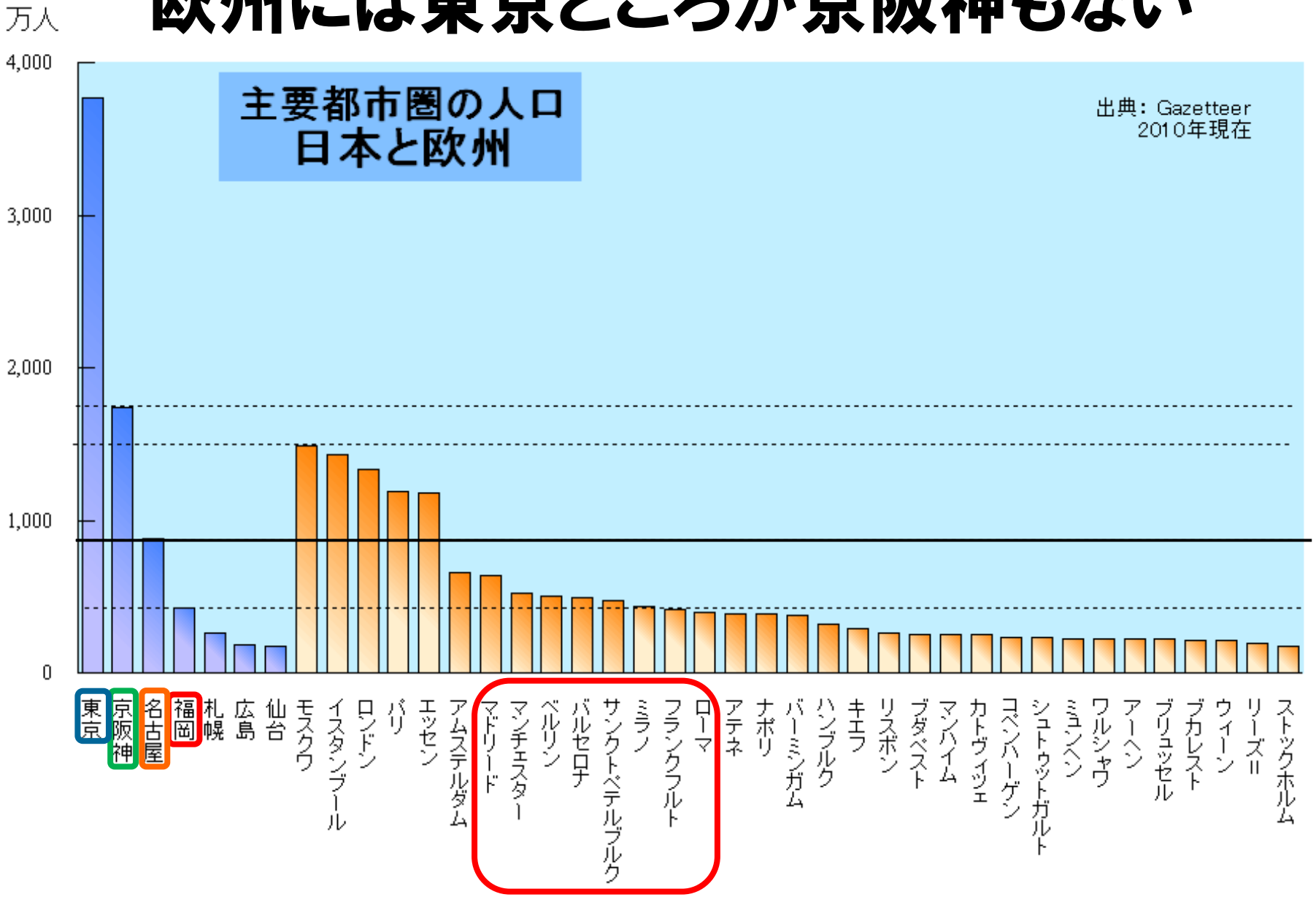
← 知識よりも美意識、感性がビジネスに必須

← 自然の中で五感を刺激される生活が必要

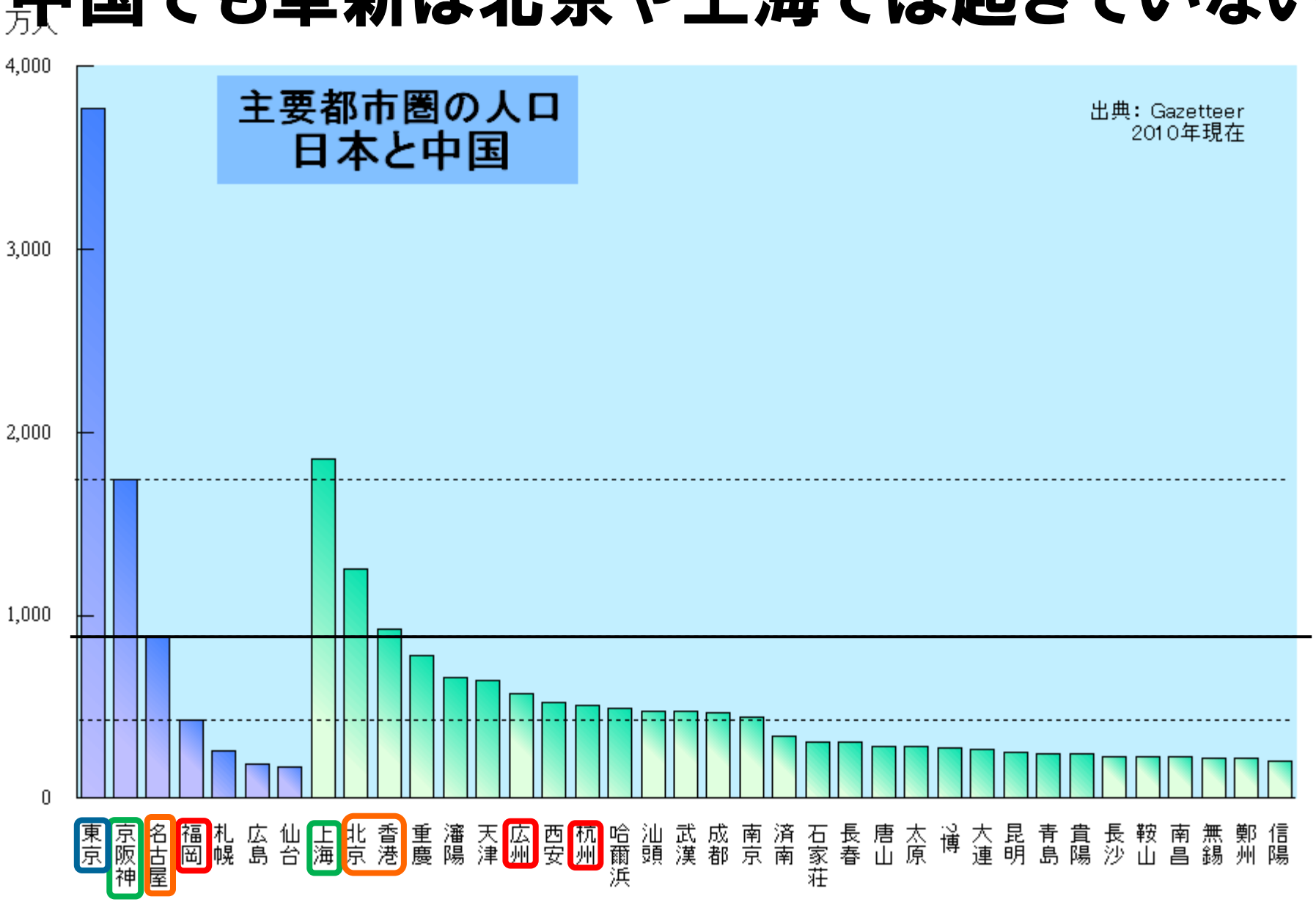
東京は時代遅れの巨大恐竜
GAFAは、NYやLAでは生まれていない



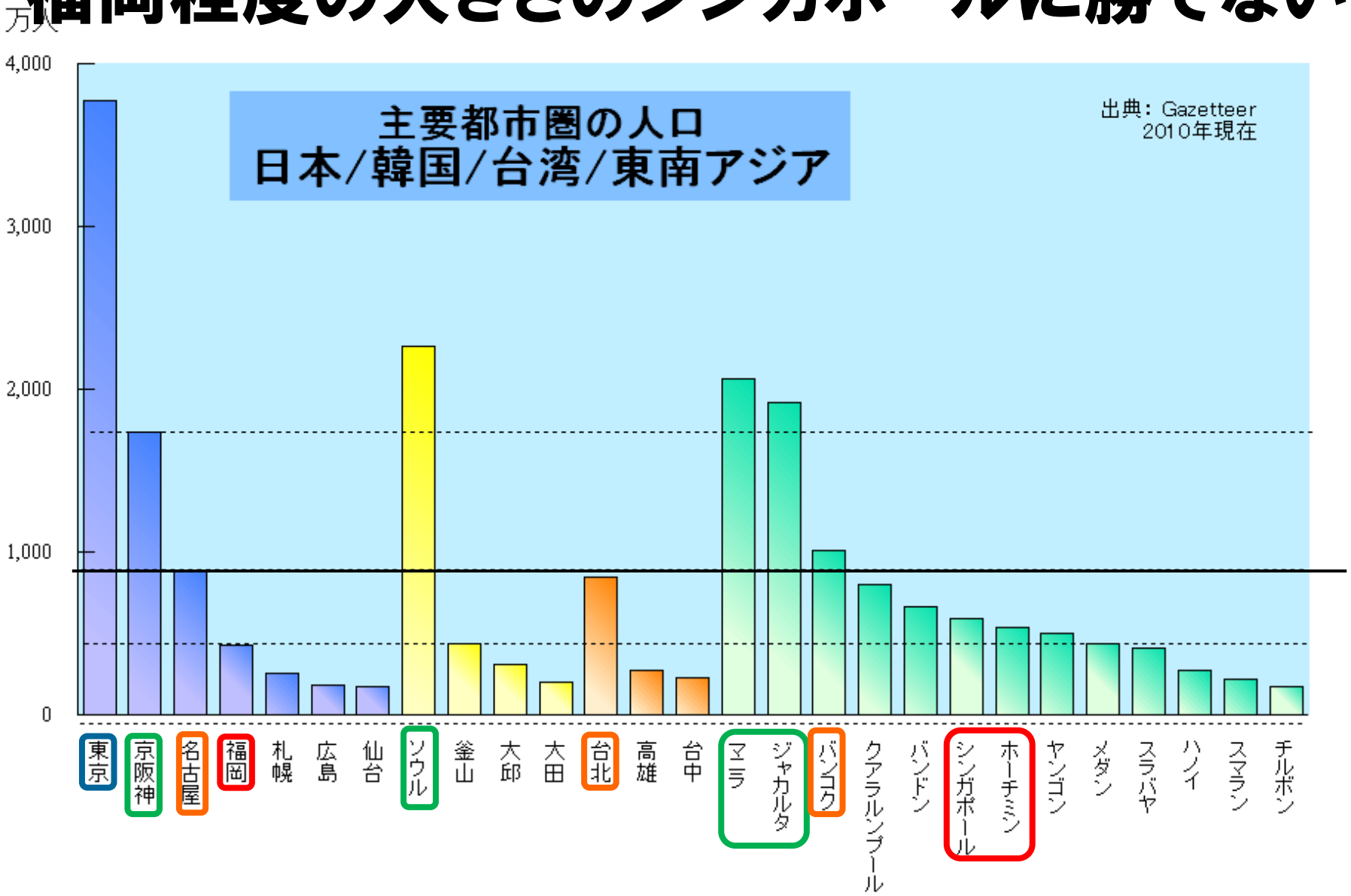
東京は時代遅れの巨大恐竜
欧州には東京どころか京阪神もない



東京は時代遅れの巨大恐竜
中国でも革新は北京や上海では起きていない



東京は時代遅れの巨大恐竜
福岡程度の大きさのシンガポールに勝てない



生産性とは何か？
どうやったら向上するのか？

こちらの増加しか考えない企業が多すぎ

だが、得た利益を貯蓄するだけでは消費は増えない

利益を稼ぐのも、コストとして地域に回すのも生産性上昇効果は同じ

貯め込むよりもコストにする方がお金が循環する

付加価値額＝GDP

＝利益＋地域に落ちるコスト

(人件費や、設備投資の一部)

÷

就業者数

男女/正規/非正規を問わない

現場/間接部門を問わない

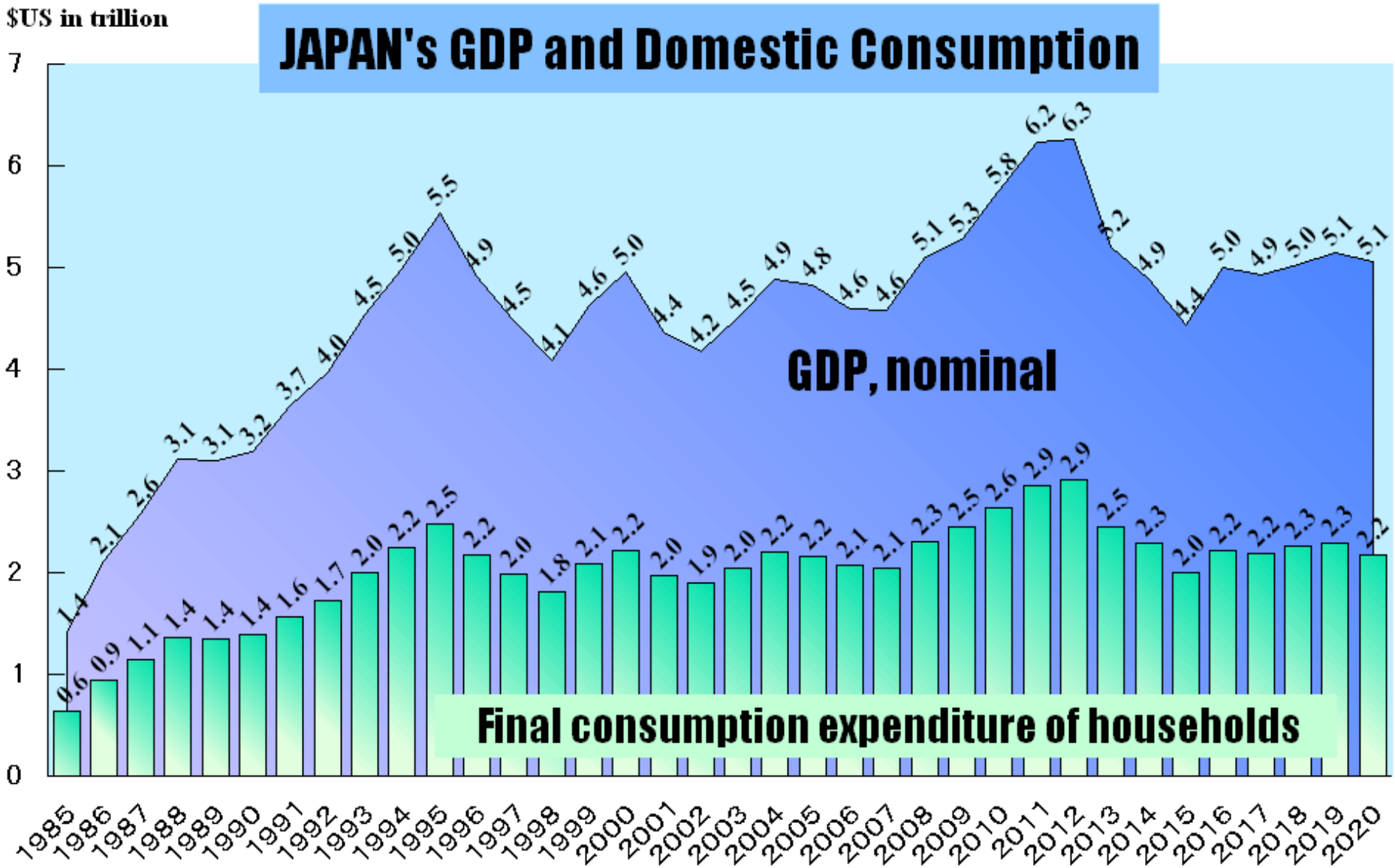
“生産性”は付加価値額＝GDPが増えれば上がる

コストダウンではなく、売上増でもっとコストをかけられるようになるほど、上がる

“生産性向上”＝人減らしだと思われている。

しかし人を減らすと、付加価値の中の人件費も減るので、生産性はむしろ下がりがち

Quick Review of Japan's Economy -4



地域の　　５段階

ここま　　地の例

地　　口町
　　町

客数　　ライベント

知名度UP
話題性UP

琵琶湖
関が原古戦場

地域と地域企業が
今後とも続いていくための道

それは「地消地産」

＝地元で消費するものは極力地元産に

↓↓↓

経費の中で地元に残って回る部分を1％でいいので増やす

地域内経済循環を拡大し
決裁権限を取り戻そう

“地産地消”ではなくて“地消地産”

地産地消：“地産外商”の例外

- 地域の特産品は“地産外商” が当たり前！！
- だが地元民も少しは消費しないと本物ではない
- そこで地産外商の例外として地産地商も重要である

地消地産：“地消外産”の見直し！

- 特産品以外は外から買う“地消外産”が常識
- それを見直し、少しでも地元産を使うのが“地消地産”
- 地消地産は“売上”ではなく“経済循環”を拡大する

○ 地消地産は１％でも効果が出る！

“地消地産”をどう進めるか

子孫に地域を残すために

× 一円でも多く儲けて“勝ち残る”ために

× 大企業に貢いで“日本を支える”ために

× しがらみの中で生きていくために

○ 地域が“価値残る”ためにお金を回す

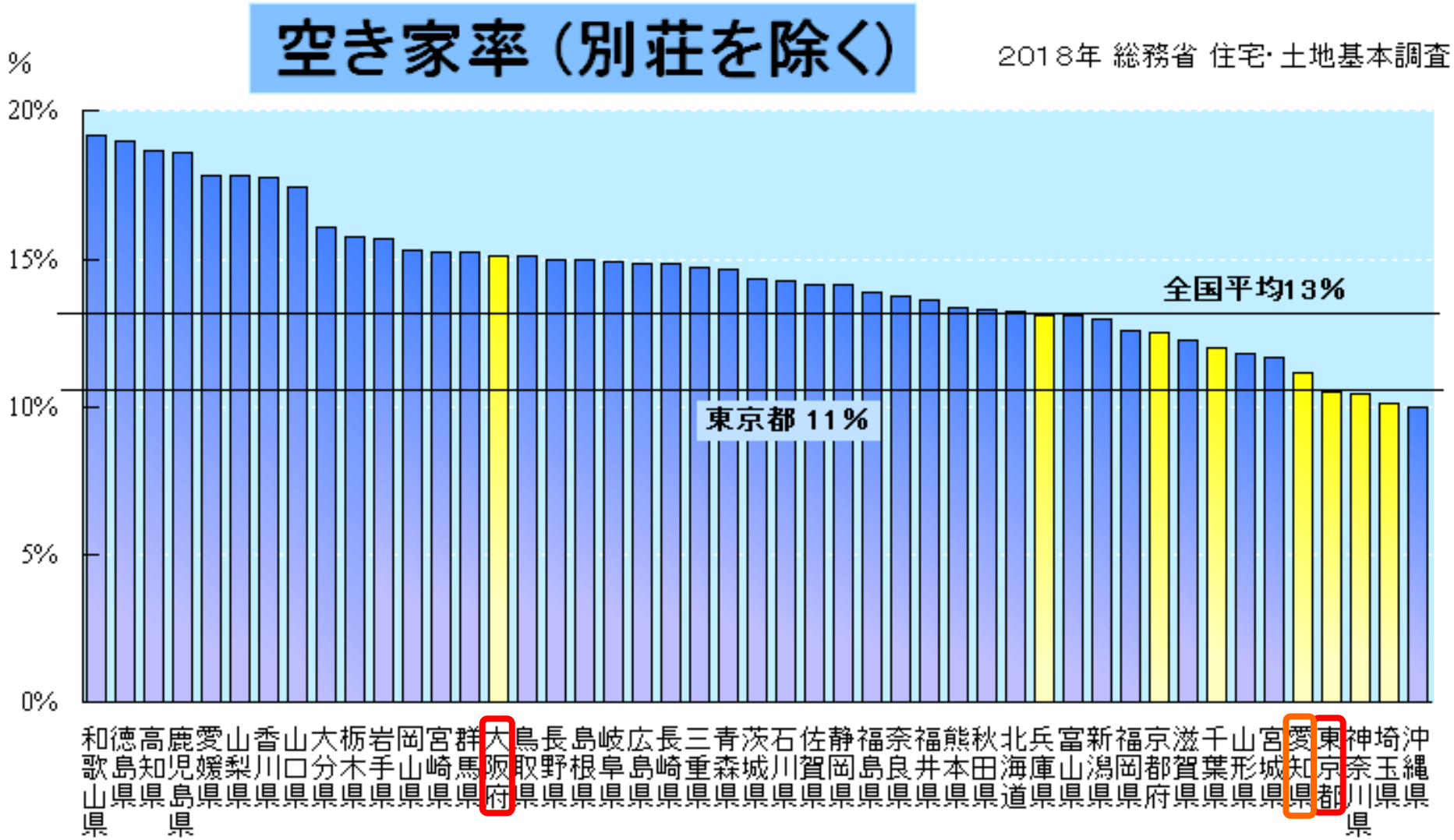
できる範囲でまずは１％から

× 損してもやる　× 客がつかなくてもやる

○ 事業のプロとしてやれる範囲から拡大

3. 人口成熟に襲われる東京

「空き家は田舎に多い」は本当か？



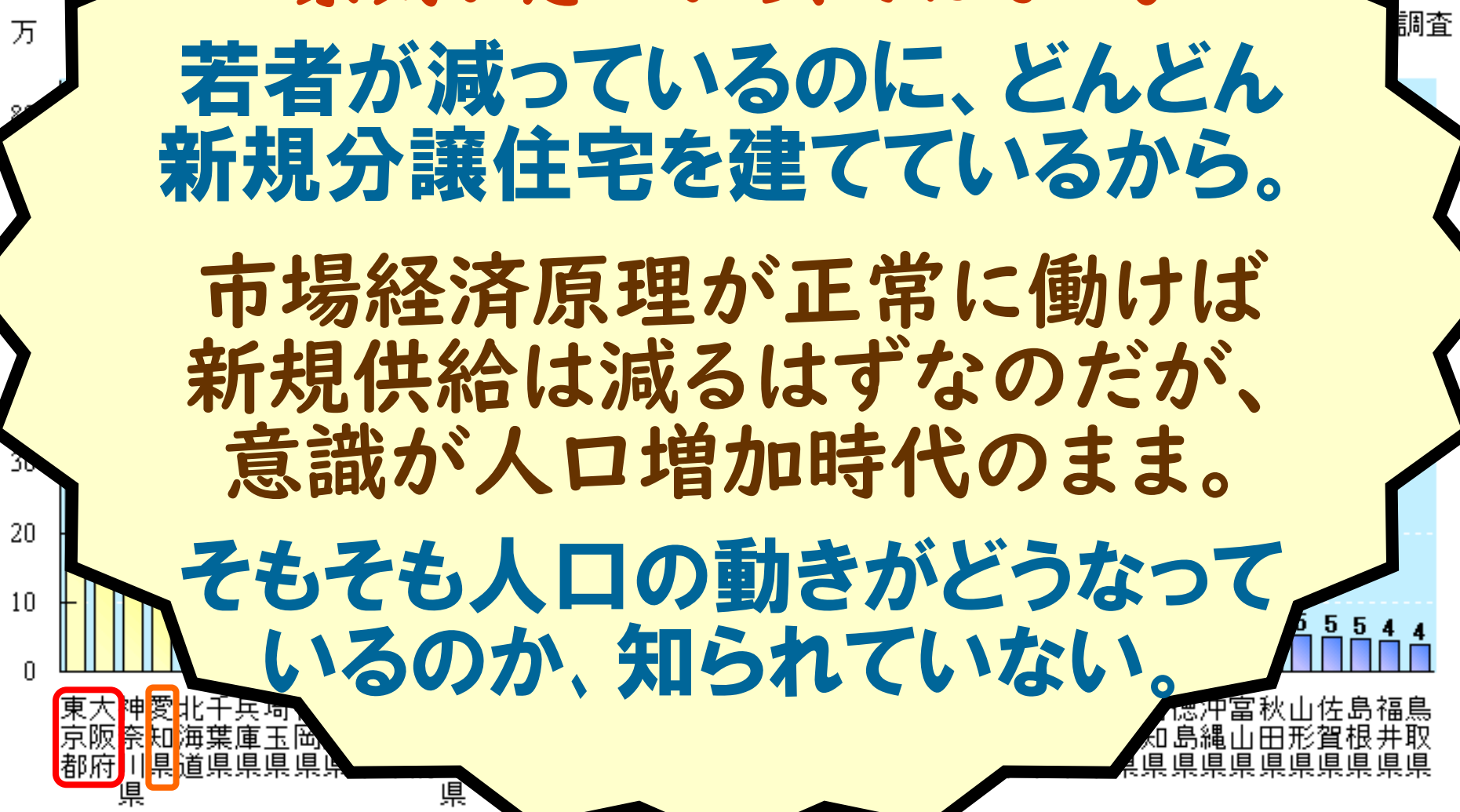
空き家の[illegible]にある

空き家が増えるのは
景気が悪いから、ではない。

若者が減っているのに、どんどん新規分譲住宅を建てているから。

市場経済原理が正常に働けば
新規供給は減るはずなのだが、
意識が人口増加時代のまま。

そもそも人口の動きがどうなっているのか、知られていない。



都内居住の若者（15～44歳）は15年元旦→20年元旦の5年間に

× 80万人増えた

× 8万人しか増えていない

③ 8万人減った

ヒント:

① 都の人口は15→20年の5年間に54万人増え、15～44歳だけだと59万人の転入超過です

② 20年元旦には、まだコロナの影響はありません

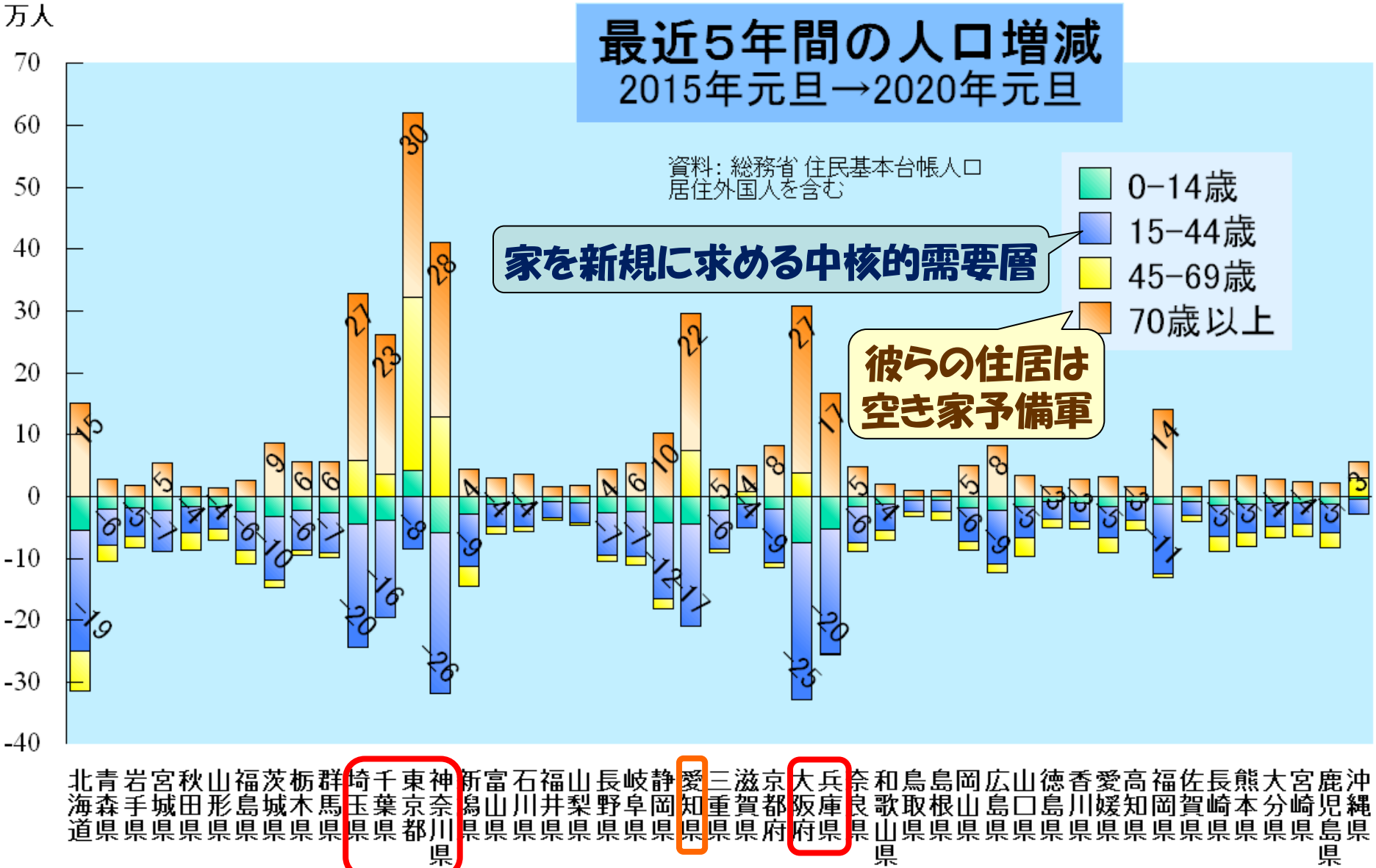
東京都

なぜ東京都の
15～44歳は減ったのか？

最近5年間に
51万人が15歳を超え、
15～44歳が差し引き59万人転入したが、
118万人が45歳を超えた。

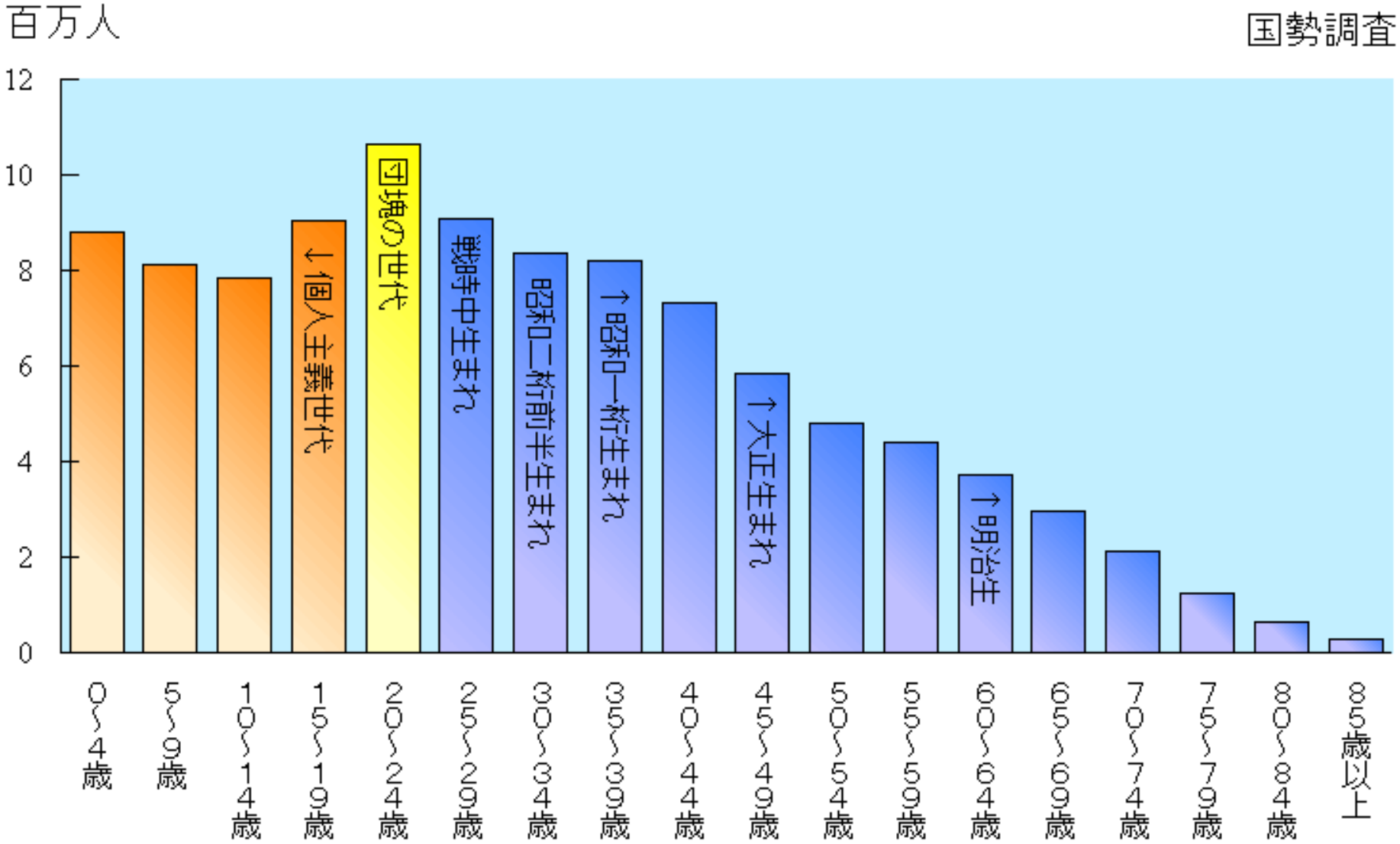
新入生51万人＋転校生59万人
－卒業生118万人で
8万人の減少…

減る15～44歳/増える70歳以上



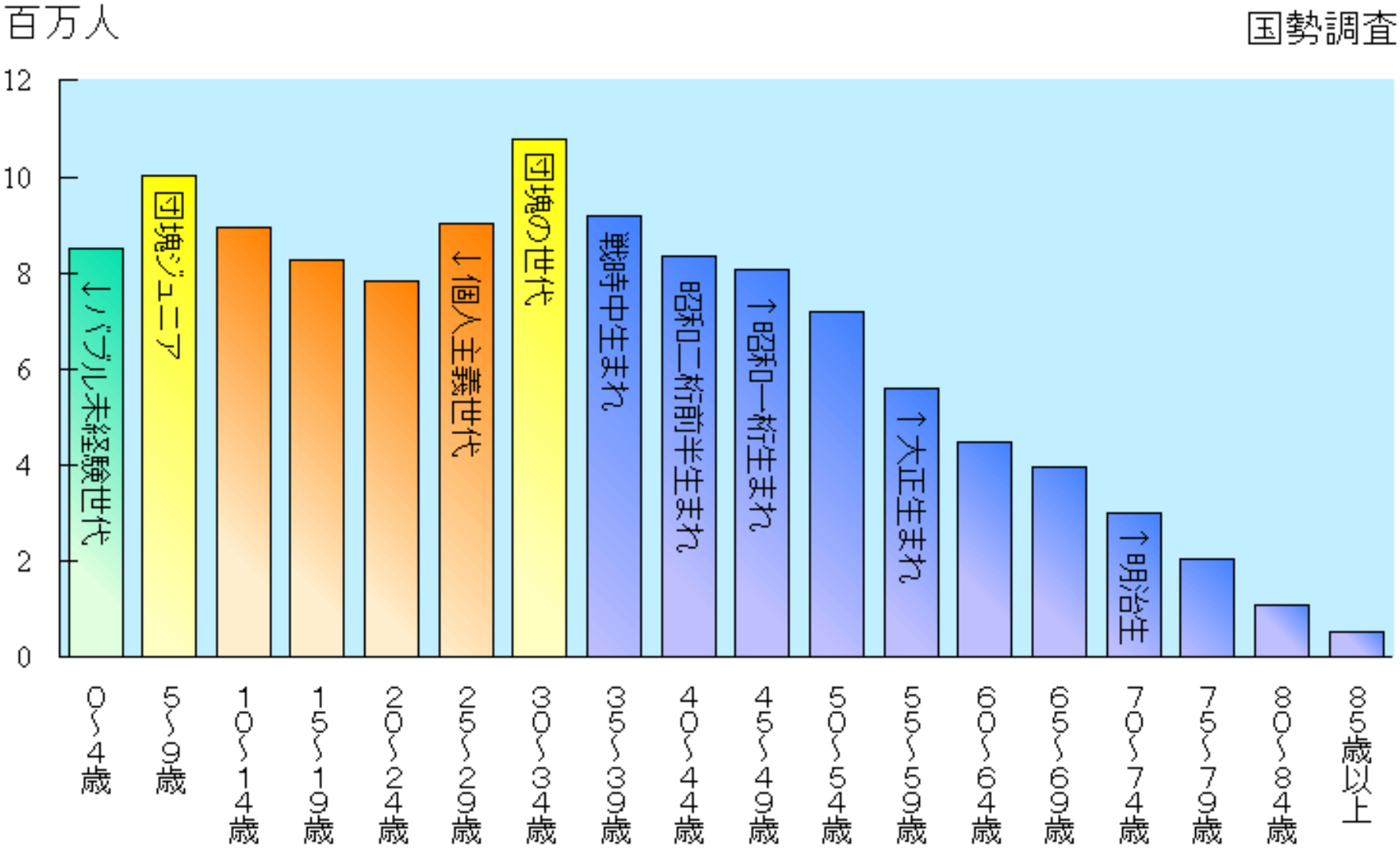
50年前の日本：高度成長期

何歳の人口が多かったのか：1970(S45)＝50年前



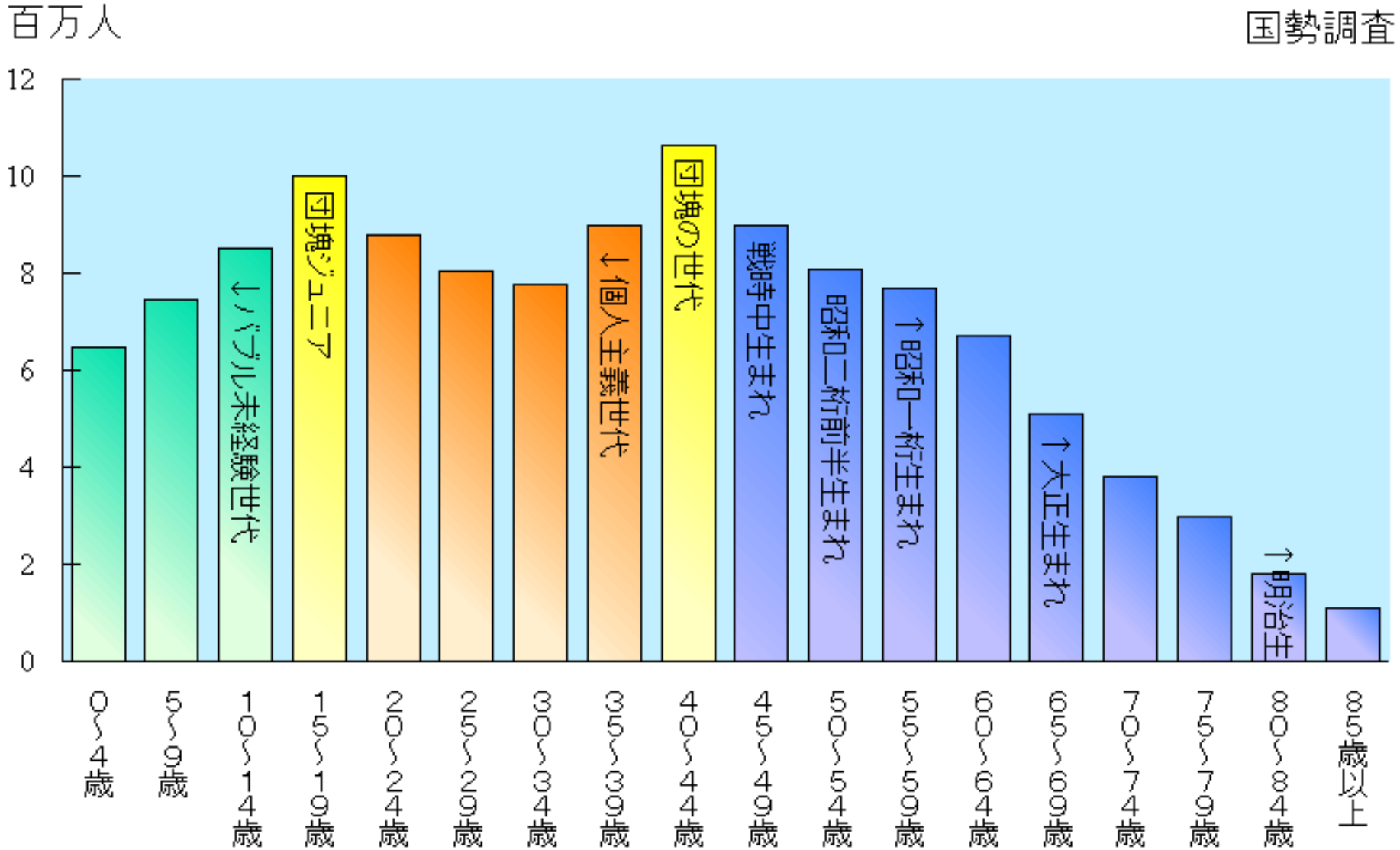
40年前の日本：安定成長期

何歳の人口が多かったのか：1980(S55)＝40年前



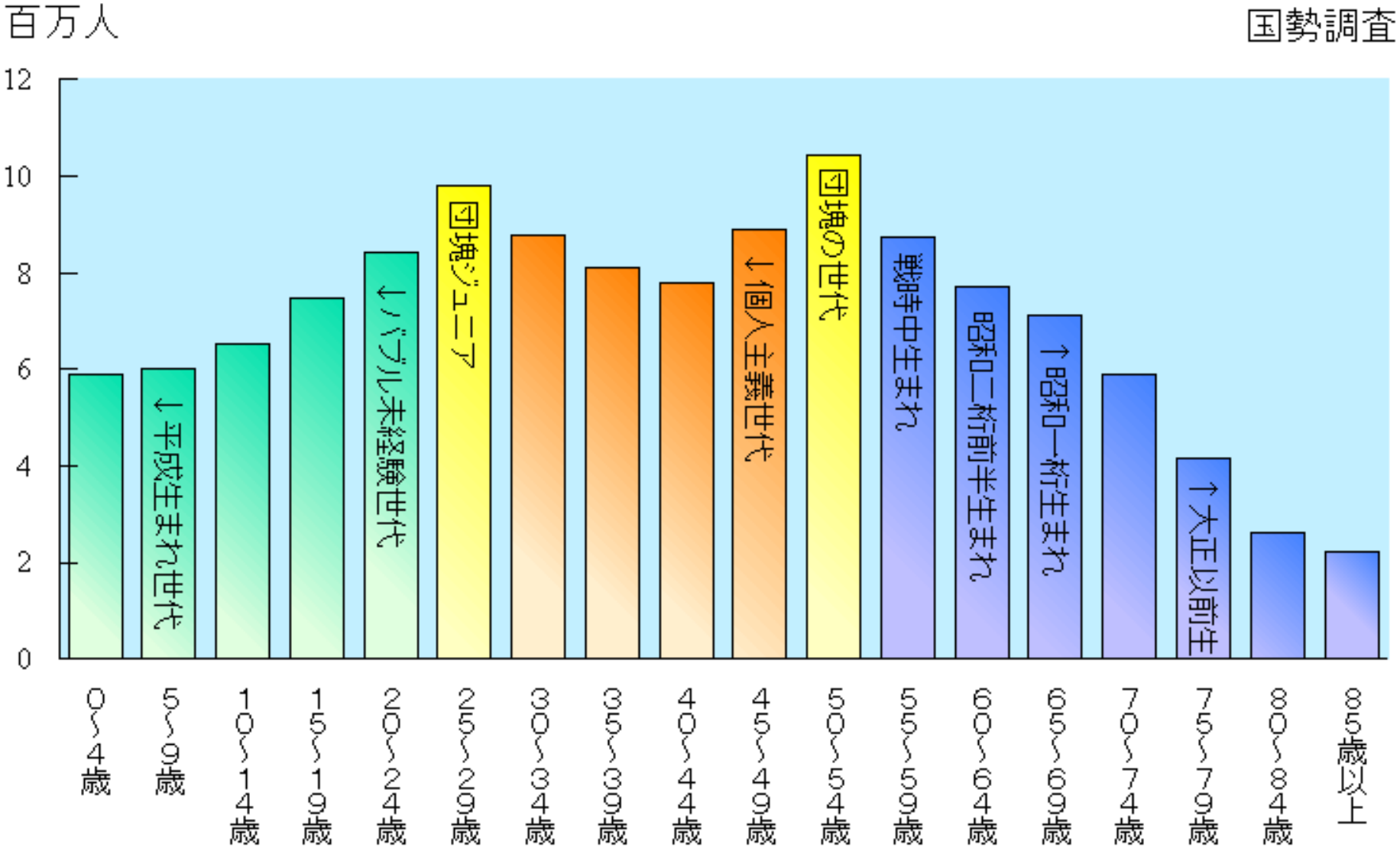
30年前の日本：バブル期

何歳の人口が多かったのか：1990(H2)＝30年前



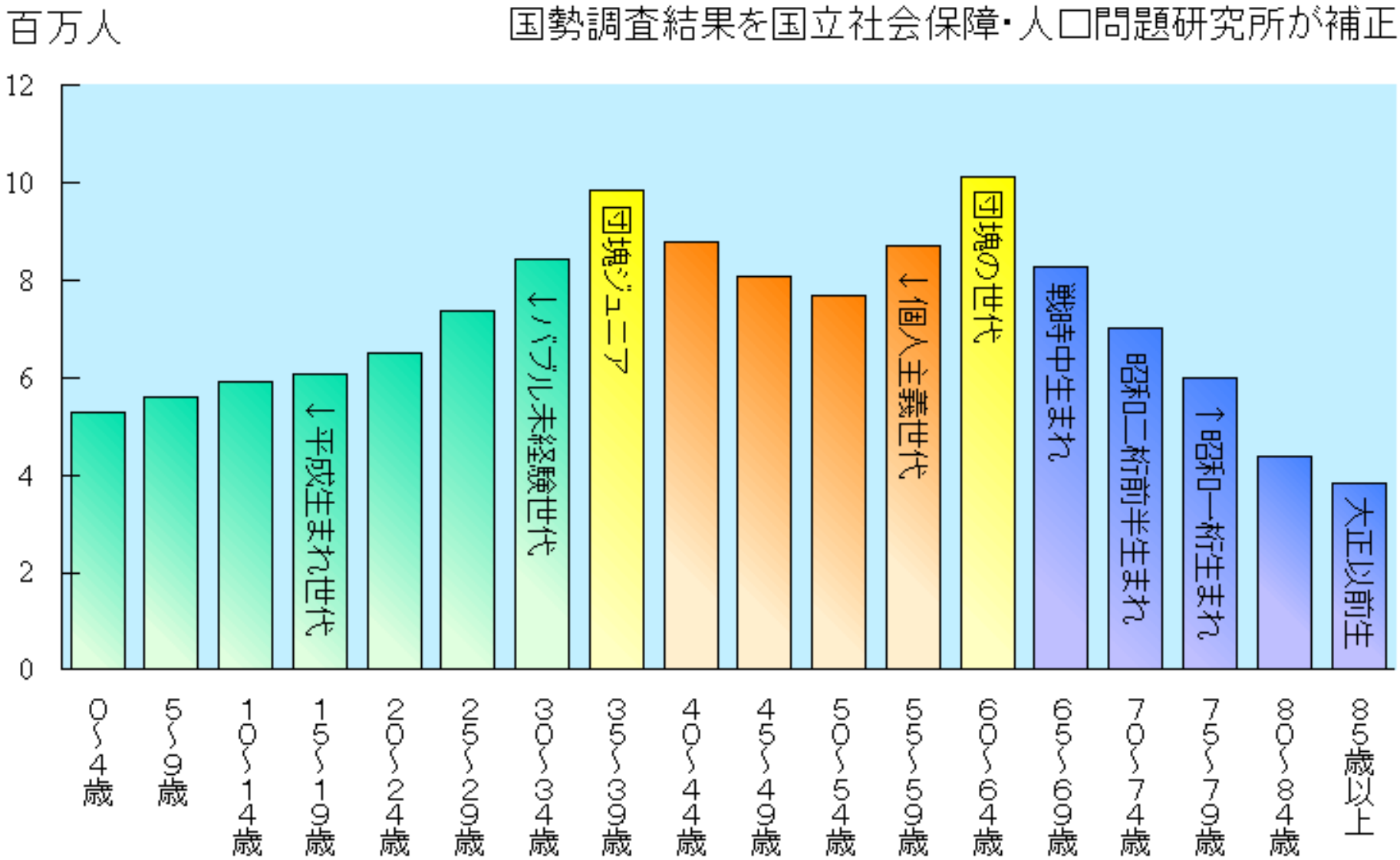
20年前の日本：内需停滞の開始

何歳の人口が多かったのか：2000(H12)＝20年前



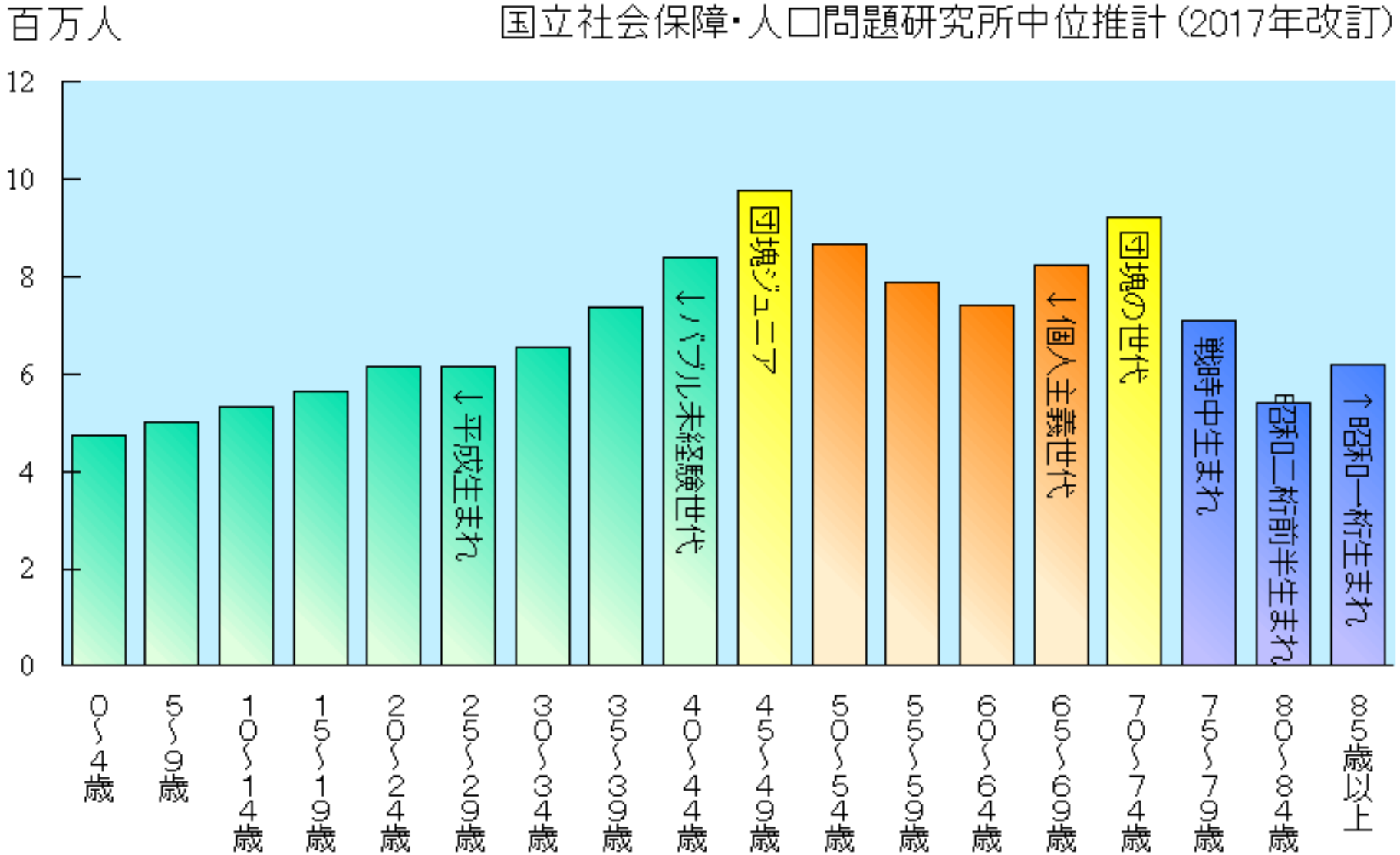
10年前の日本：内需停滞続く

何歳の人口が多かったのか：2010(H22)＝10年前



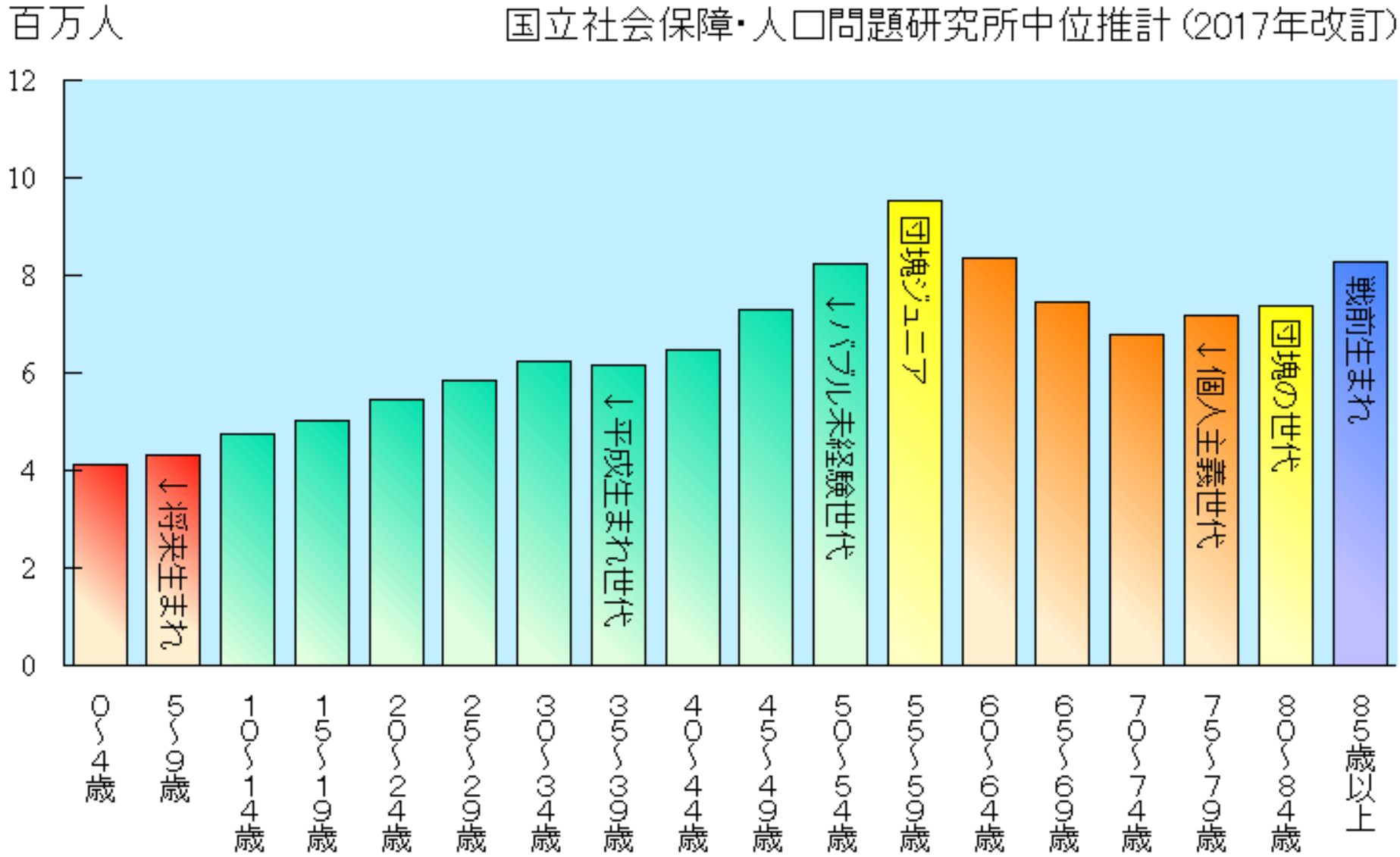
今の日本：アベノミクス祭り終わる

何歳の人口が多いのか：2020＝現在



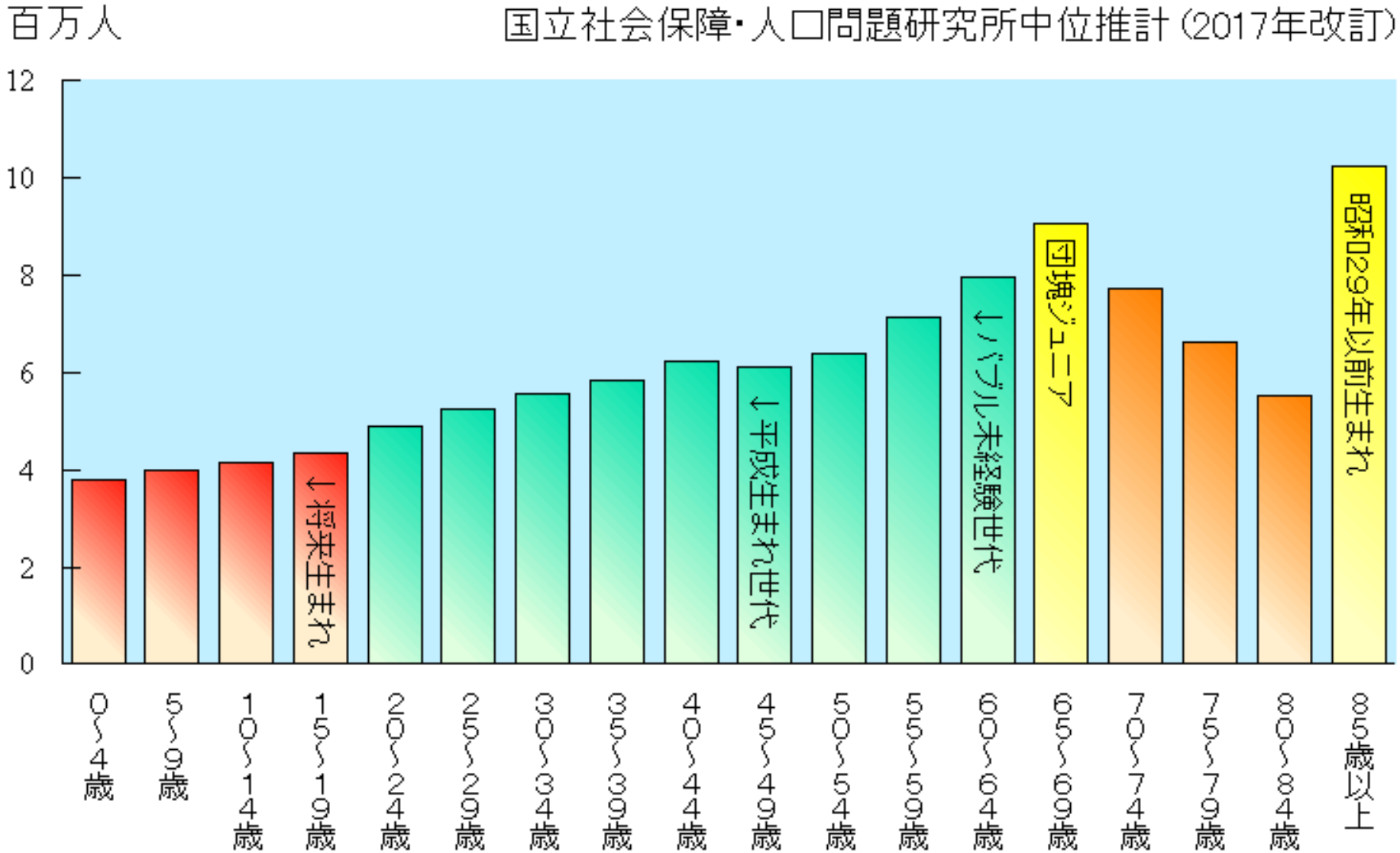
10年後の日本：団塊世代終活へ

何歳の人口が多くなるのか：2030＝10年後



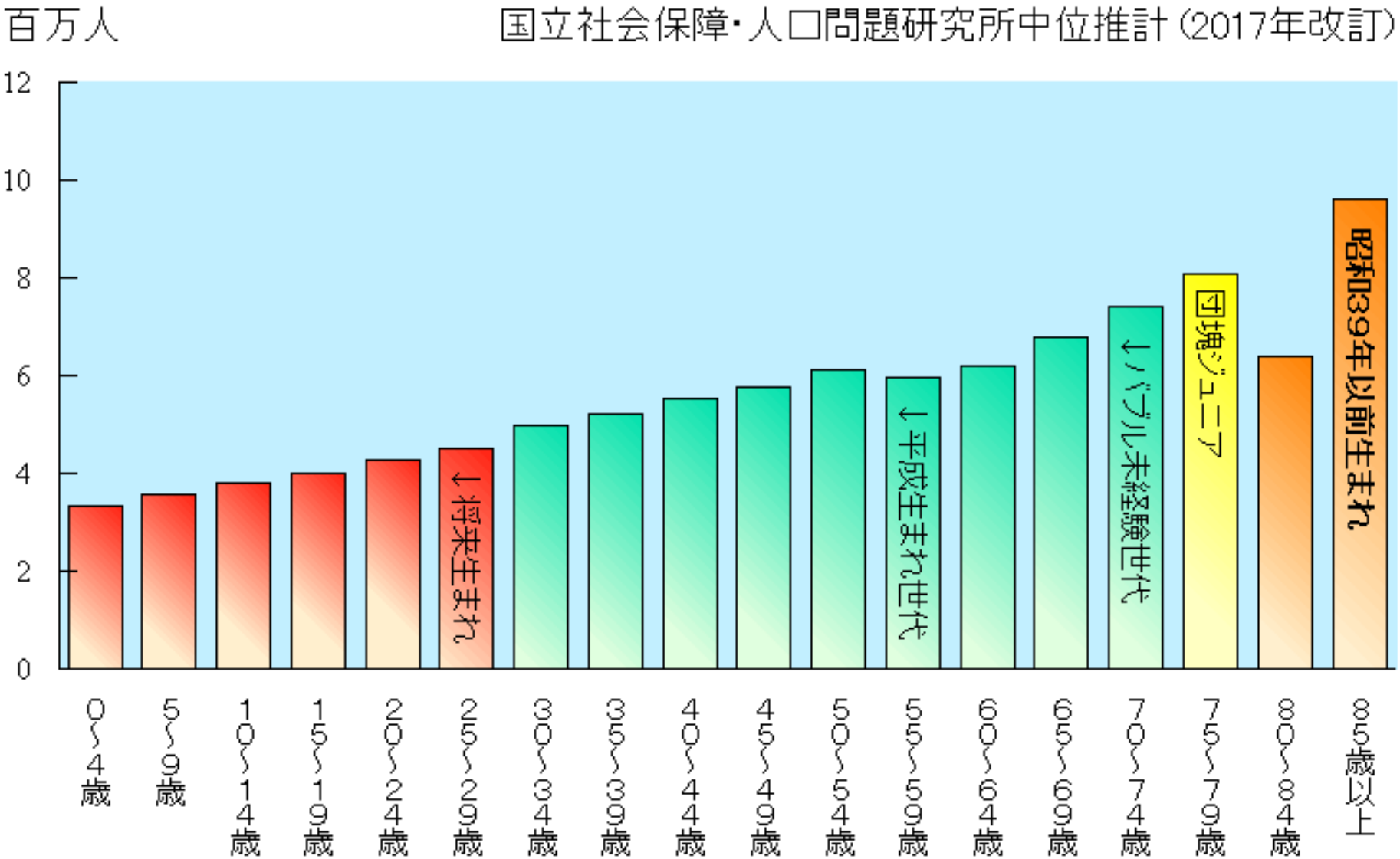
20年後の日本：団塊ジュニア退職

何歳の人口が多くなるのか：2040＝20年後



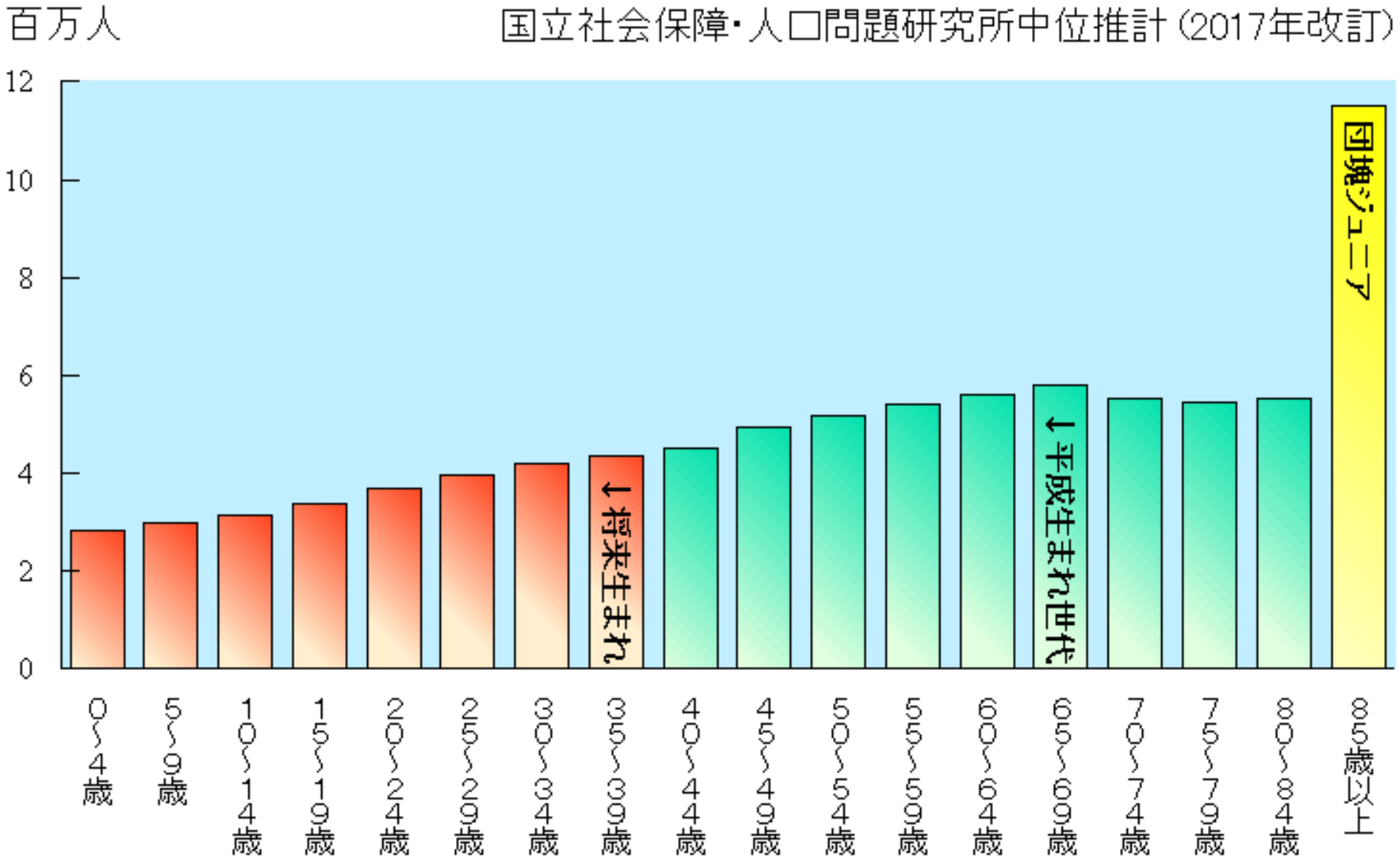
30年後の日本：講師も終活へ

何歳の人口が多くなるのか：2050＝30年後



40年後の日本：団塊ジュニア終活

何歳の人口が多くなるのか：2060＝40年後



人口成熟（一般に言う「少子高齢化」）とは

まず 平均寿命が延びる

すると 高齢者が急増する

他方で 出生率は下がる

そのため20年後から 成人が減る

しかし 出生率低下の前に生まれた世代

の加齢で 高齢者は増え続ける

仕事を持つ若者が少なかったのは？

若者：15～34歳、外国籍含む
仕事を持つ：非正規、パートを含む

15～34歳の総数は3,457万人

× バブル最盛期の1989年 1,950万人

× 就職氷河期の1997年 2,154万人

× リーマンショックの2009年 1,790万人

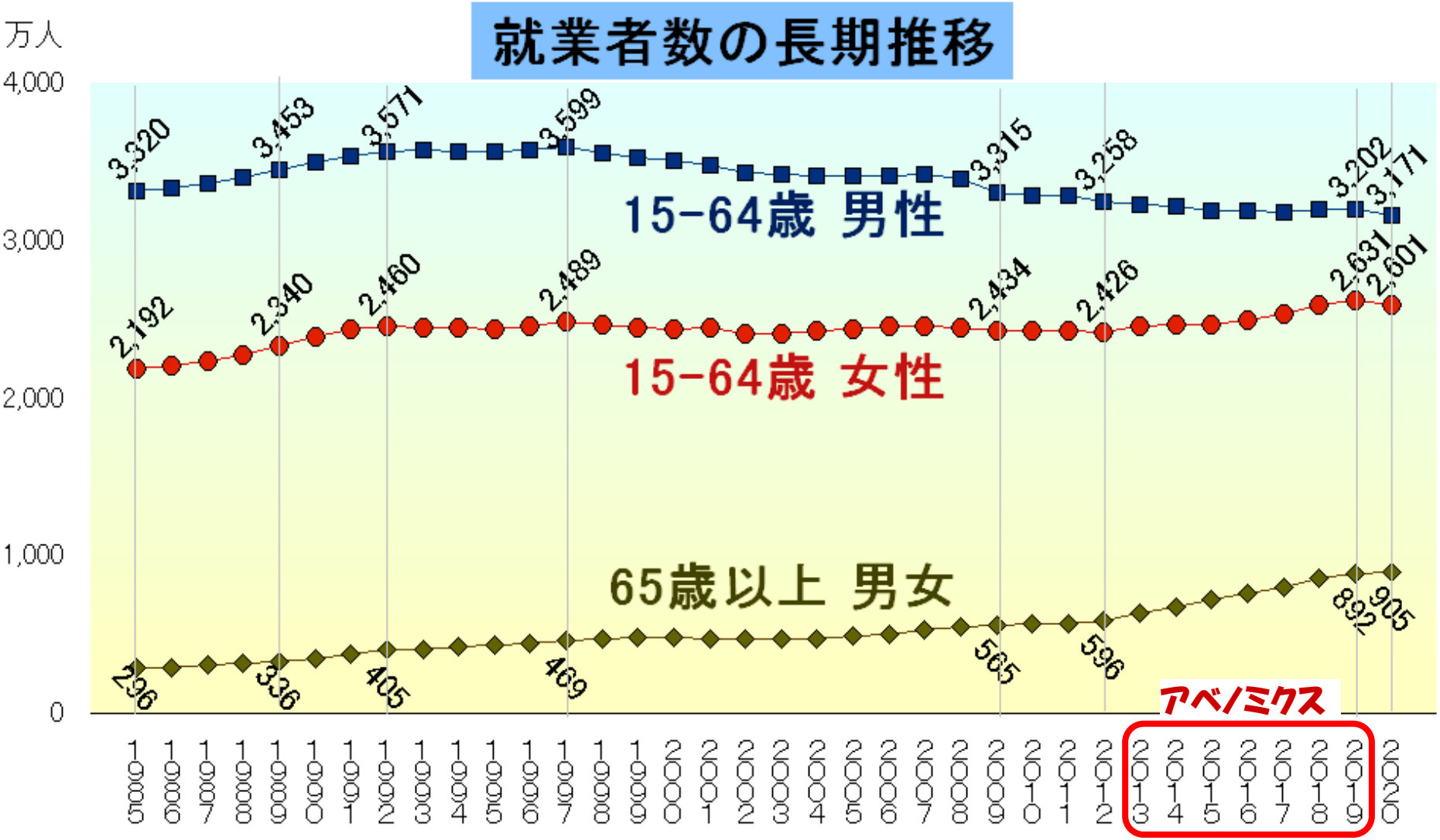
④ アベノミクスの2019年 1,690万人

15～34歳の総数は3,529万人

15～34歳の総数は2,522万人

女性と高齢者が雇用を支える

しかし多年の少子化で、現役世代男性の働き手は年々減少



就業者数：総務省労働力調査、非正規労働者数を含む、在日外国人労働者含む

中国本土

ることと

なぜ中国本土の
15～44歳は減っているのか？

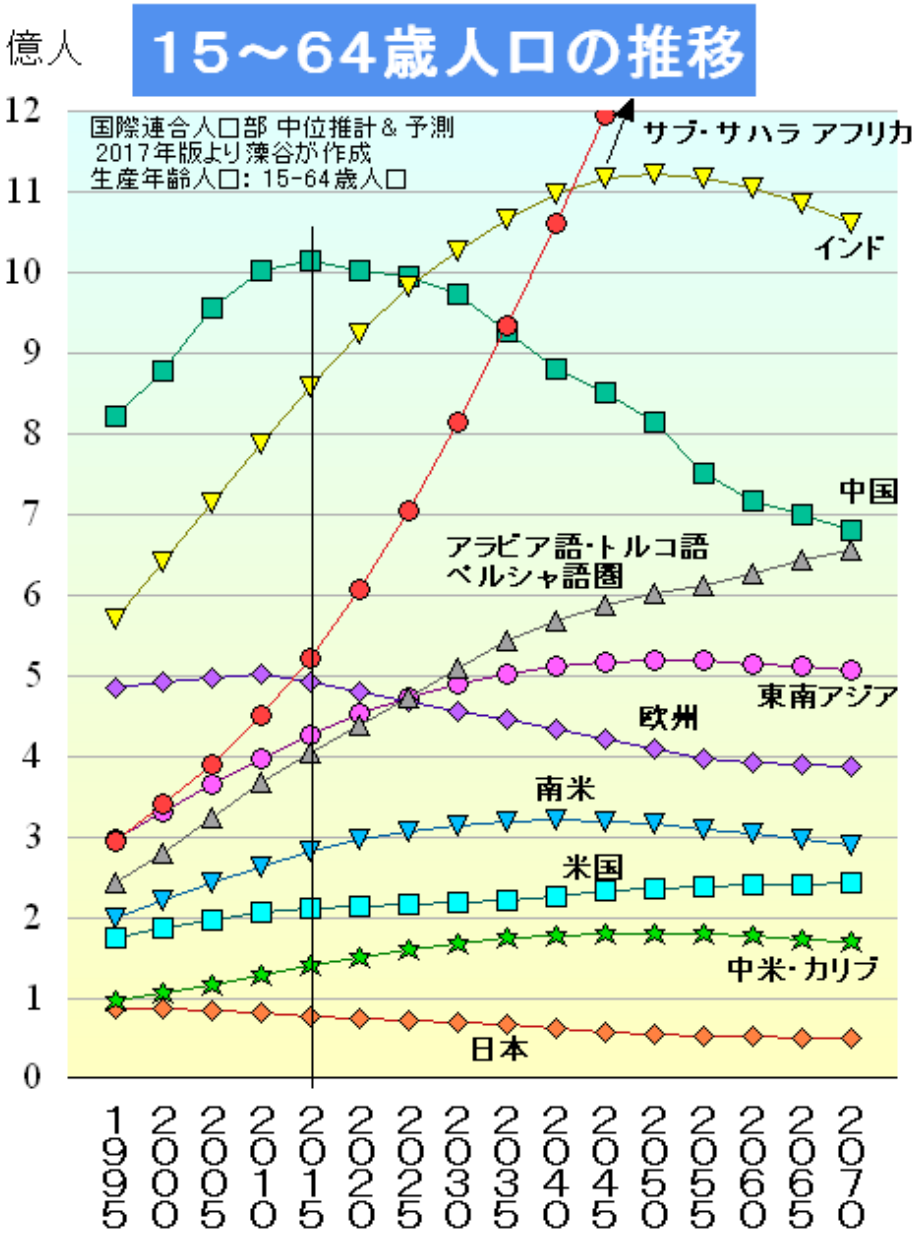
2015～2020年の5年間に
8,264万人が15歳を超えるが、
15～44歳が345万人死亡/海外移民し、
1億2,097万人が45歳を超える。

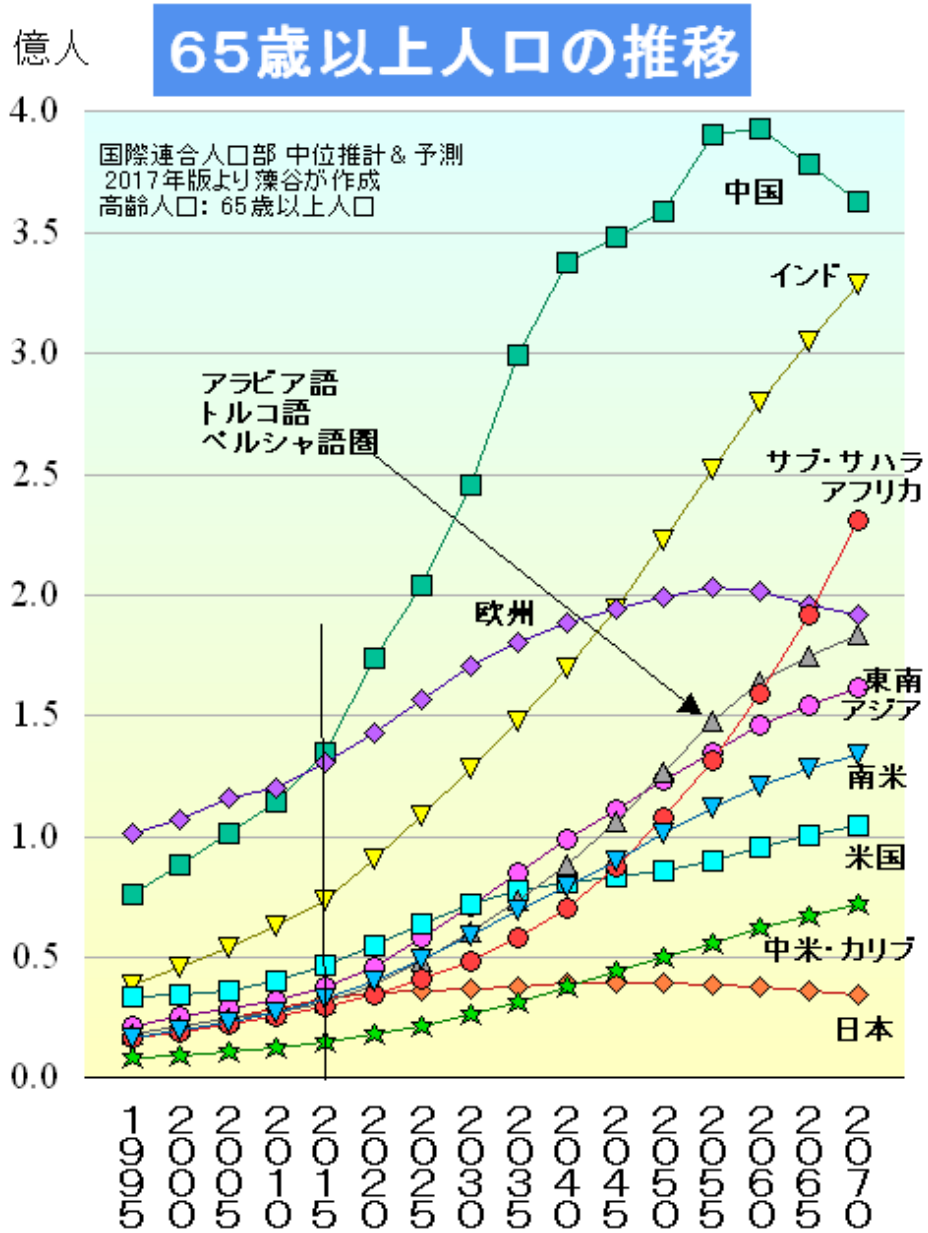
新入生8,264万人
－[転校生＆死亡者]345万人
－卒業生12,097万人で
4,178万人もの減少…

70歳以上人口
2015年 0.8億人→

減
万人

日本の後を追って高齢化する世界





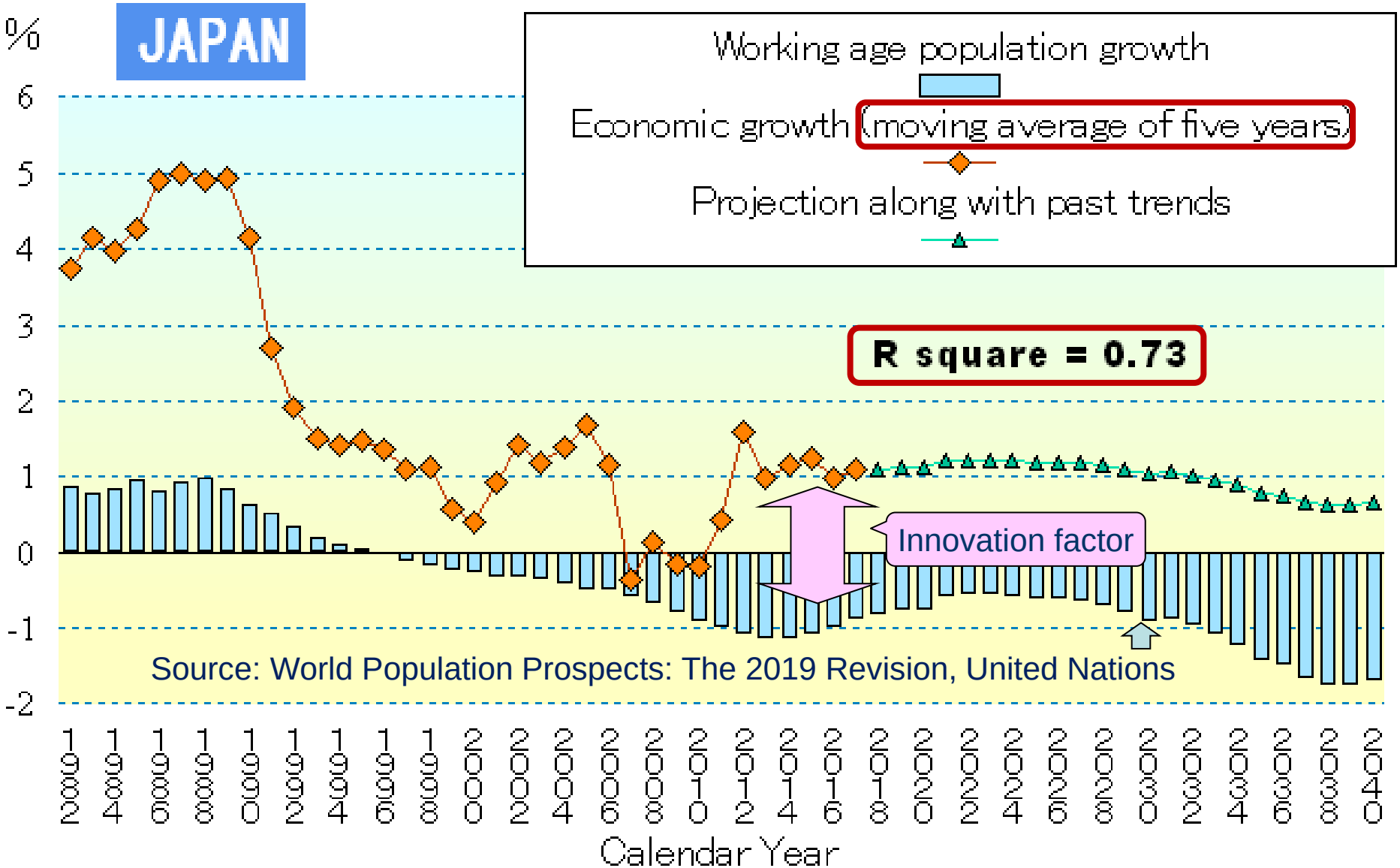
人口成熟の帰結:「人口敗戦」とは？

高齢者の急増
→ 医療介護の供給不足
→ 歳出増 → 財政逼迫

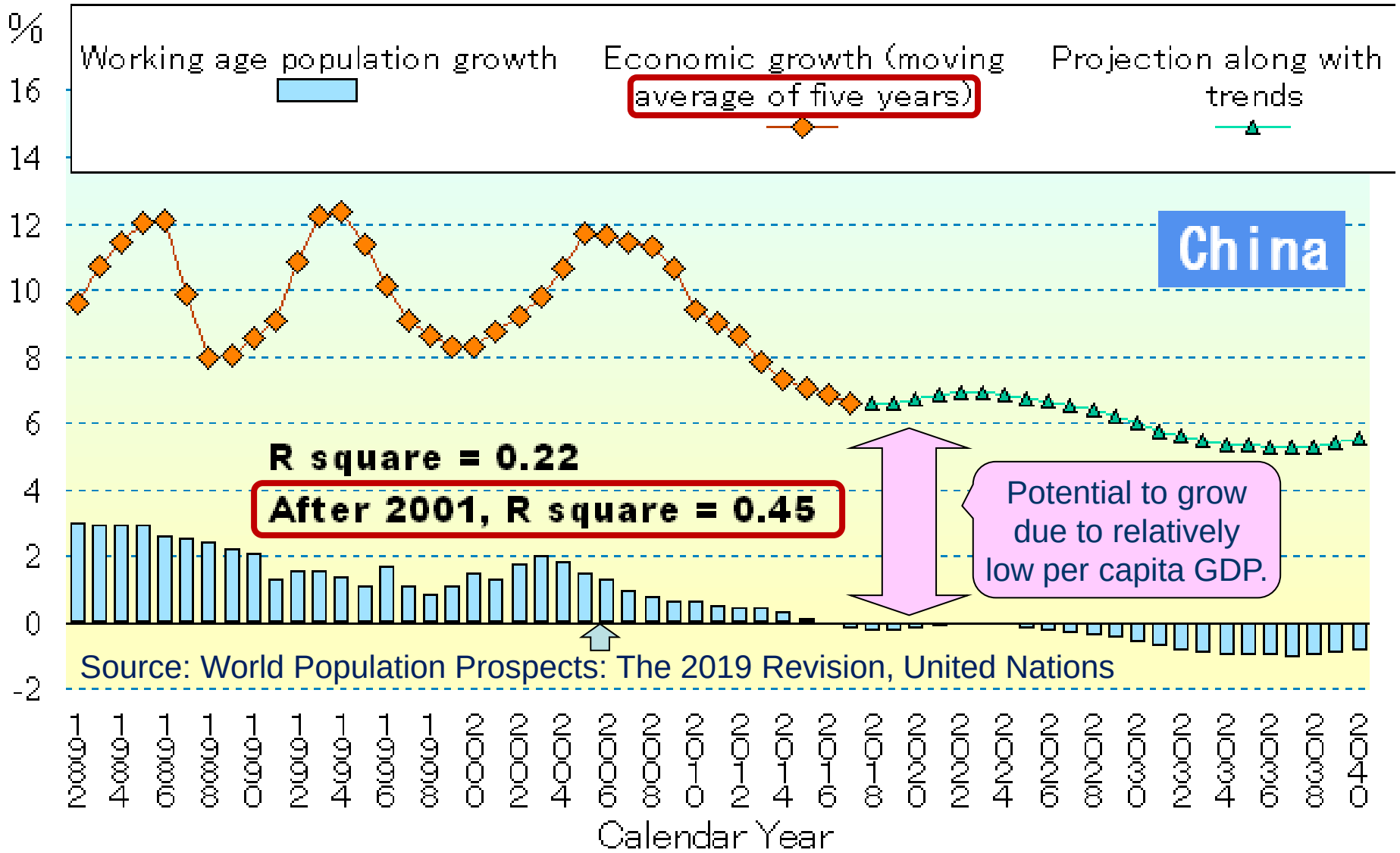
現役世代の減少
→ 消費数量の減少
→ 供給量過剰でデフレ継続

旧来型のマクロ政策の無効化

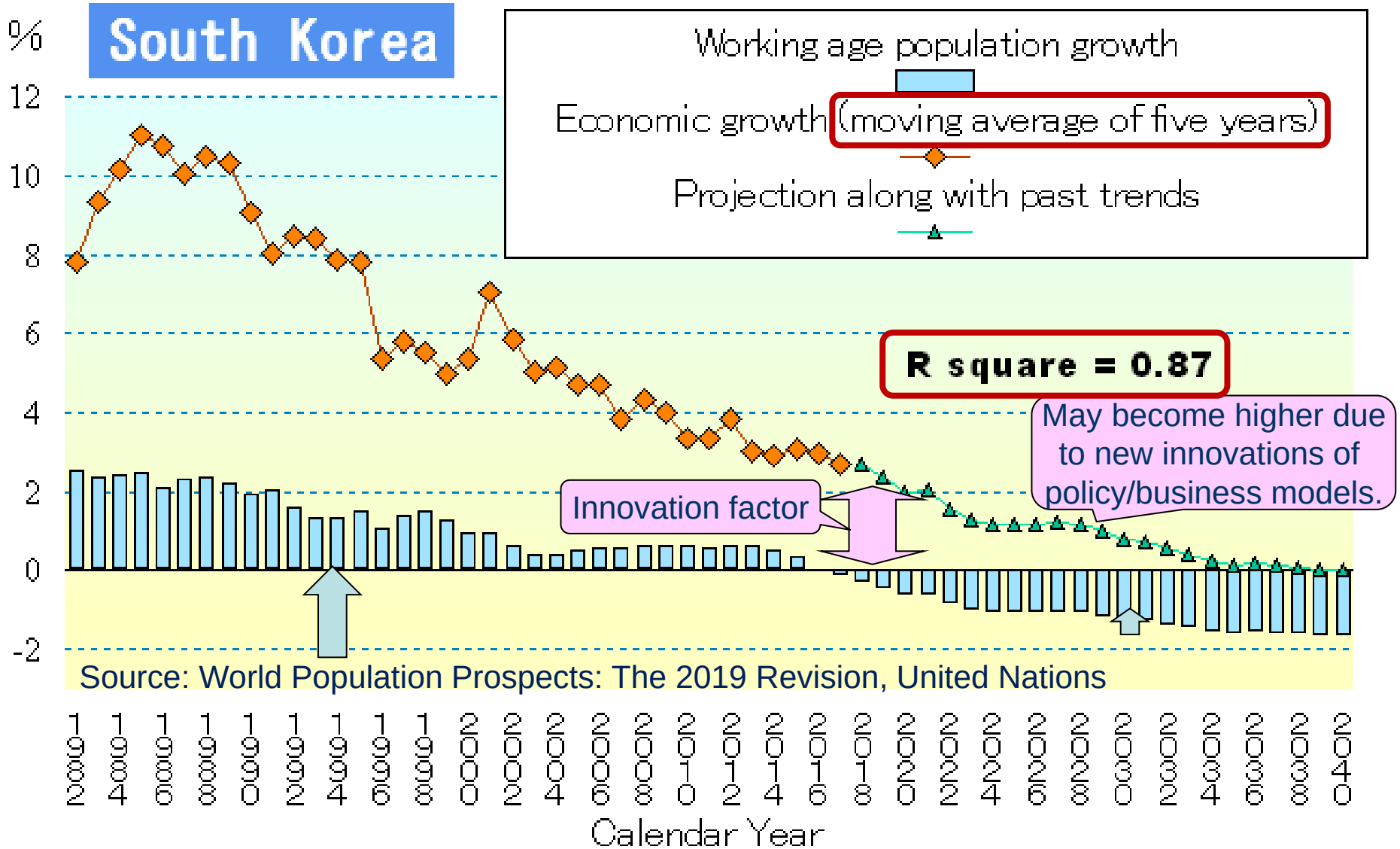
日本のGDPは15-64歳人口と連動



中国のGDPも15-64歳人口と連動へ



韓国の人口成熟はさらに深刻



４．昭和の先入観に固まった世代の退場で終わる東京神話

日本シ[illegible]の所在地

外国人には、日本人の
ような“東京神話”信者はいない。

京阪神も、名古屋も、札仙広福も、
世界から見れば十分に大きく快適。

そもそも日本の最大の魅力は田舎。
自然が豊かなのに生活は便利。
天災に強く、コロナにも強かった。

ニセコや軽井沢に中国人投資が
集まるのは理の当然。
中部地方は？？？

東京にしかないものって何？

美味しい飲食店 ？
何でも売っている店 ？
コンサートや演劇 ？
いい仕事？
東京にしかいない凄い人たちとのつながり？

そうではなくて…

○ その他大勢に紛れて現実逃避できる
○「東京在住」だと何となくサマになる
○「うまくいかないのは地方在住だから」
という言い訳を、口にできなくなる

人口超過密
が続
の集中
リスク

日本
に
比

②

③ 高齢者

大都市では
何の痛みも感じずに
元の通勤に戻る人が2割。
嫌だと思いつつ戻るのが6割。
別の道を検討するのが2割。
実際に動くのは2％くらいか。
その2％を受入れる地域と
企業にはチャンス。

なぜそれで

たがる？

？ “

？

女

由

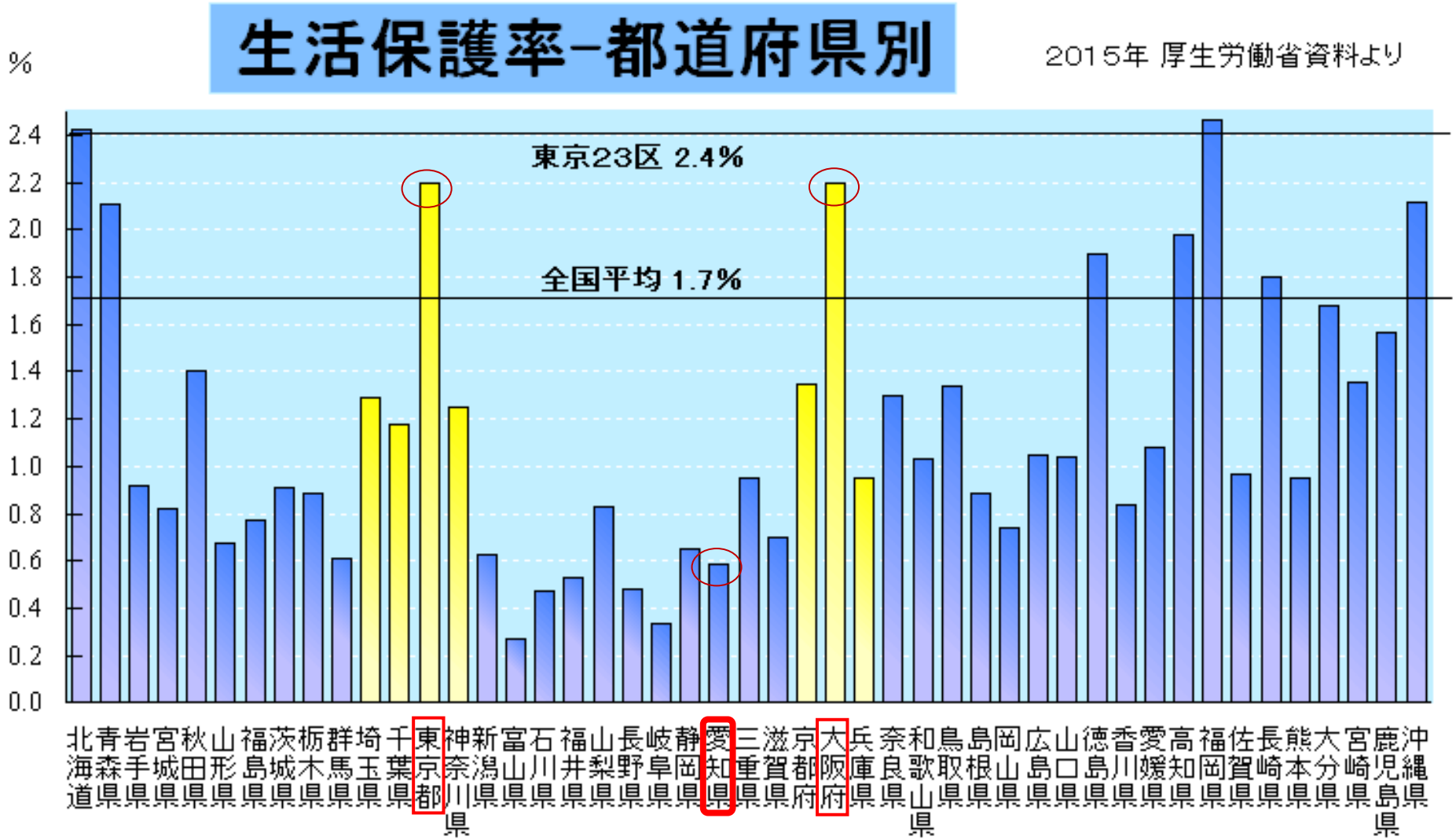
おう！

○“ピンハネ

機会がある

“お受験エリート”の
東京集中が続くかは
上が下から“ピンハネ”する構造
を脱する地方企業と起業家が、
どれだけ増えるか、にかかる。
増えて行かないと、日本が
国際競争に負ける。

生活が楽なのはどの都道府県？
地方・大阪・東京、生活保護率が低いのは？



昭和は“7回裏で試合終了”だった

1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回
5歳	15歳	25歳	35歳	45歳	55歳	65歳
10歳	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳

“いい大学”から“大企業”に入ればもう成功は確実！

うまく“重役”になれれば退職後は“悠々自適”

男性は平均で70手前で死に、“試合終了”。→家は子育て中の子供が相続

超高齢化社会のニューノーマルとは

1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回
5歳	15歳							
10歳	20歳							

ライフステージに応じて、もっと柔軟な働き方ができる町になろう！

仕事時間外に即時に自然や家族と触れ合える暮らし、半自給する暮らしが送れる町になろう!!

お迎えの日が来るまでずっと、満ち足りた人生を過ごせる町に!!

進路指導の教師も、親も、ここまでしか考えていない

若く体力のあるうちに子育てすべきだったが、仕事で残業ばかり

持ち家とお受験教育“2つの無用”に無駄金を払う

退職後には収入もやることもない

田舎暮らしの人の方が仕事も収入もある！

延長戦に入る備えはあるか？

２１世紀は昭和とは違う

☆ 平均寿命が延びた［昭和：60歳代→21世紀：80歳代］

→ 昭和の頃は、大企業の退職金で死ぬまで暮らせた

→ ２１世紀は“退職のない仕事”をして、田畑で自給ができて、お金に頼らない部分を持つ方が有利！

☆ 毎年生まれる子どもの数が半減した

→ 昭和の頃は、人口の増加＝若者の増加

→ ２１世紀は、人口の増加＝高齢者の増加

※ 都会ほど子どもが生まれにくく、新たに流れ込んでくる若者の数よりも、昔流れ込んできていま高齢者になっている人の方が多い

☆ 日本は世界一豊かになり、地方も本当に豊かになった

→ 昭和の頃は、仕事がなくて都会に出ていた

→ ２１世紀は地方ほど人手不足で、生活費も安い

エネルギー源でみた人類史五段階

① 狩猟採集時代［石器時代～］

② 農耕時代［弥生時代～］

← 太陽光を穀物に変え貯蔵するという技術革新で人口急増
→ 貯蔵した穀物や農地を巡って戦争が起きるようになった

③ 化石燃料前期-工業時代［戦後～］

← 化石燃料=太古の太陽光の濃縮物 で肉体労働を代替
→ 人口が激増、しかしエネルギーは足りており戦争は無用に
→ 農耕従事者が激減、都会で書類を書く無産階級が激増

④ 化石燃料後期-IT時代［21世紀～］

← 頭脳労働もIT化され、生産に要する労働力が激減へ
→ 生産ではなく消費がボトルネック化し、”経済成長“が終焉

⑤ 新エネルギー革命＝再生可能エネルギー時代［平成終盤～］

← 太陽光や地熱を小規模で高効率利用する技術が深化
→ 人口密度の低い田舎で“部分自給”する生活が有利に